

平成31年第2回平取町議会定例会（開会 午前9時29分）

議長

おはようございます。ただいまより本日の会議を開きます。ただいまの出席議員は12名で会議は成立します。

日程第1、会議録署名議員を指名します。会議録署名議員は会議規則第122条の規定によって、1番松澤議員、2番松原議員を指名します。

日程第2、議案第19号平成31年度平取町一般会計予算、

日程第3、議案第20号平成31年度平取町国民健康保険特別会計予算、

日程第4、議案第21号平成31年度平取町後期高齢者医療特別会計予算、

日程第5、議案第22号平成31年度平取町介護保険特別会計予算、

日程第6、議案第23号平成31年度平取町簡易水道特別会計予算、

日程第7、議案第24号平成31年度平取町国民健康保険病院特別会計予算、

以上、議案6件を一括して議題とします。これより平成31年度各会計予算にかかわる提案説明を求めますが、最初に予算説明資料に基づく各会計予算総括概要についての説明をいただきその後一般会計より順次各会計の説明をお願いします。それでは平成31年度各会計予算の概要並びに一般会計予算について提案説明を求めます。総務課長。

総務課長

議案第19号平成31年度平取町一般会計予算に関しまして説明をさせていただきます。ただいま、議長より求められましたので初めに予算の概要についてご説明いたします。議長のお計らいにより着席をさせていただきます。平成31年度予算説明資料の1ページをお開き願います。平成31年度各会計予算総括であります。一般会計の総額は、平成31年度（A）59億8800万円、30年度と比べた増減（A）－（B）は3900万円0.6%の減少となっております。次に5つの特別会計の総額は28億8220万円で、30年度と比べ7億3743万3千円20.4%の減少となり、一般会計・特別会計を合わせた31年度の平取町の予算総額は88億7020万円となり、30年度に比べ7億7643万3千円8.0%の減少となっております。平成31年度各会計予算は第6次総合計画の財政計画及び実施計画に基づき持続可能な財政構造の構築を目指し、経常的経費の節減に努めながら町民ニーズに対応した投資的経費への配分に努めたところであります。それでは各会計の予算について概要を説明いたします。主なものについて申し上げます。2ページの平成31年度一般会計歳入歳出予算、款別内訳をご覧ください。歳入1款町税は5億862万8千円で30年度に比べ4.3%の増加を見込み、2款から11款につきましては30年度決算見込み及び31年度地方財政計画に基づき積算計上いたしております。10款地方交付税は28億1700万円と見込み30年度対比で1.9%の増加となっております。18款寄附金1億5千万円はふるさと応援寄附金、いわゆるふるさと納税の伸びを見込み30年度対比で50.0%の増加といたしております。21款諸収入2億4368万円は54.6%の増加と

なっており、道路施設整備事業など31事業の財源として充当を図るものであります。22款町債6億7030万円は30年度対比で21.2%の減少となり生活交通確保対策事業など34事業に充当いたしております。次に歳出であります。30年度と比べて増減の率が多い款について説明をいたします。5款農林水産業費は3億3509万5千円で30年度対比25.1%減少しておりますが、これは野菜選別施設整備工事などが30年度で完了したことなどによるものであります。6款商工費は3億1818万円で20.4%の増加であります。ふるさと納税の伸びに伴う返品品の増加などによるものであります。9款教育費6億8854万9千円49.4%の増加で、振内小学校大規模改修事業など学校施設改修工事を新規に着工するとともに、中央公民館並びに町民体育館の省エネルギー化設備導入工事を行うことなどによるものであります。次に3ページ以降の特別会計に移ります。3ページ国民健康保険特別会計は歳入歳出それぞれ合計で7億6180万円で30年度対比3.9%の増加となっております。続いて下段、後期高齢医療特別会計は歳入歳出それぞれ8750万円で30年度比11.6%の増加となっております。次に4ページ上段、介護保険特別会計は歳入歳出それぞれ4億9430万円で30年度と比べ0.3%の増加となっております。続いて下段、簡易水道特別会計は歳入歳出それぞれ合計で2億8080万円で30年度対比2.0%の増加となっております。次に5ページ、国民健康保険病院特別会計について、病院事業収益は8億5819万1千円17.5%の増加、病院事業費用は10億3661万6千円で41.9%の増加、病院改築事業の完了により資本的収支は収入で2億1702万2千円83.4%の減少、支出が2億2118万4千円79.3%の減少、歳入合計で10億7521万3千円47.3%の減少、歳出合計で12億5780万円で30.0%の減少となっております。続いて6ページの一般会計歳出構成表についてご説明いたします。まず、その支出が任意に削減できない義務的経費の合計は21億6627万1千円30年度対比で1.9%の増加となっております。人件費は4.5%の増加、医療費・措置費等の扶助費は5.2%の減少、起債の償還にかかる公債費は3.0%の増加となっております。投資的経費は14億9712万円で10.4%の減少となっております。補助費・積立金・繰出金等のその他の経費は、23億2460万9千円4.3%の増加となっております。7ページから8ページについては平成31年度一般会計の性質別目的別歳出分類表となっております。説明は省略させていただきます。9ページは30年度町税収入見込額であります。合計で5億2273万9千円、収納率は現年課税分が98.2%、滞納繰越分が17.8%、合計で94.4%を見込んでおります。国民健康保険税及び町税収入額の推移については下段の表に記載のとおりであります。10ページは平成31年度町税収入見込額、11ページは個人町民税調定見込額調で、いずれも31年度町税収入の積算資料となっております。12ページは普通交付税の推移及び一般会計公債費償還見込みであります。普通交付税の推移は平成16年度の三位一体の改革により大

幅に削減された以降は増加の傾向をたどっておりましたが、平成24年度以降は国の地方財政計画によって減少傾向に転じ、30年度決算見込みは25億404万4千円となっております。普通交付税は国の方針によって31年度は若干の増が見込まれますが、予算は24億7千万円30年度交付税決定額に比べ3404万4千円の減額を見込んでおり、町の歳入の半分近くを占める交付税については、今後も更に厳しい状況になるものと予想をいたしております。起債の償還に当たる公債費は平成30年度から毎年増加し、平成35年度には8億4094万2千円になるものと推計しております。13ページは基金現在高見込状況であります。基金名1の財政調整基金から8の地域雇用創出基金までの特定目的基金が一般会計分、9・10が特別会計分となっております。一般会計における30年度末の基金残高見込みは24億8092万8千円余りで、31年度での取り崩し積立分を加えますと平成31年度末では21億6967万9千円余りに減少するものと見込んでおります。下段の基金名11、金券事業分については表に記載のとおりであります。次の14ページから23ページまでは、平成31年度の主要事業を掲載しておりますが、お読取りをいただき、個別の説明は省略をさせていただきます。24ページは、地方公営企業繰出金算出内訳で簡易水道特別会計並びに国民健康保険病院特別会計への繰出金の算出の内訳を記載いたしております。25ページは、一般会計における地方消費税交付金のうち社会保障施策への充当状況を示した表となっております。社会福祉、社会保険、保健衛生の各分野での関係経費の合計が10億8887万6千円となっており、その財源として一般財源のうち4448万3千円を充てることとなっております。26ページから31ページまでは、平取町が構成町となっている一部事務組合である日高西部消防組合、平取町外2町衛生施設組合、胆振東部日高西部衛生組合に対する平成31年度における負担金の内訳であります。これにつきましては各科目における予算説明の中で説明をさせていただきます。32ページは、町が加入をしている日高管内地方税滞納整理機構に対する各町の負担金計算書となっております。33から34ページは、町が出資する有限会社平取町畜産公社の事業に関する30年度の決算見込み、販売費及び一般管理費の明細、35ページから36ページは、31年度損益目論見並びに販売費及び一般管理費の明細となっておりますが説明は省略をいたします。これより一般会計予算書の説明をさせていただきます。毎年の例により、各費目のうち内容が恒常的で大きな変化等がないものについては説明を省略させていただきますとともに、既にご承知のとおり工事請負費や委託料で事業の入札等において影響が予想されるものについては個別の事業ごとの金額を予算書に記載しておりませんので併せてご理解をいただきますようお願いいたします。平成31年度平取町会計予算書の1ページをお開き願います。議案第19号、平成31年度平取町一般会計予算についてご説明いたします。第1条、歳入歳出予算であります。歳入歳出予算の総額は歳入歳出それぞれ59億8800万円と定めるものであります。第2項において歳入歳出の予算の款項の区

分及び当該区分ごとの金額は、第1表歳入歳出予算によるとするものであります。第2条、地方自治法の規定により債務を負担することができる事項、期間及び限度額は第2表債務負担行為によるとするものであります。第3条、地方債については地方自治法の規定により起こすことができる地方債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は第3表地方債によるとするものであります。第4条一時借入金の最高額は10億円と定めるものであります。それでは歳入歳出事項別明細における歳出からご説明いたしますので、97ページをお開きいただきたいと思います。97ページ、これより歳出についてご説明いたします。初めに、1款1項1目議会費5170万1千円で30年度に比べて6万9千円の減額となっております。4節共済費は、議員共済会負担金の率の改定により、30年度に比べて35万6千円の減額となっております。11節需用費は、議会だよりの表紙をカラーで印刷する回数を増やすことで36万9千円の増額としております。次に98ページから100ページ、2款総務費であります。2款1項1目一般管理費全体で12億6713万1千円を計上しております。30年度に比べて3013万2千円の増額となっております。1節報酬は、30年度より3名増の準職員、合わせて16名分の普通昇給及び人事院勧告に基づく給与改定により1267万8千円の増加、2節給料は、30年度当初予算積算時との比較で1名増により265万7千円の増額、3節職員手当は人事院勧告の給与改定に伴う勤勉手当の増額に対して、管理職手当、期末勤勉手当において、定年退職者と新規採用者の差により145万6千円の減額、4節共済費は、市町村職員共済組合負担金の率の上昇により249万1千円の増額、7節賃金は、30年度に比べ臨時嘱託職員5名の減少、これは定年による民間委託や準職員発令等によるものであります。これにより、1103万3千円の減額となっております。19節負担金補助及び交付金は、職員の定年退職により3年に一度、退職手当組合に対する清算納付金が発生することなどにより、30年度に比べ1977万7千円の増額となっております。また、平取町120周年記念事業として功労者等の記念表彰式を行うため、11節の需用費を76万3千円増額をいたしております。次に101ページ、2目会計管理費147万円は、出納事務に関する事務費を計上しております。子育て支援医療費還元事業の金券発行にかかる印刷費などを計上しております。30年度と比べ、公金取扱手数料の単価が下がったことから、全体で6万8千円の減額となっております。102ページ、3目財産管理費3781万2千円の計上であります。この費目は、役場庁舎、職員住宅及び振内単身者住宅等の管理経費に関するものが主な内容であります。31年度は川向の沙流川アート館の大規模改修工事を行うことにより30年度に比べて全体で1218万円の増額となっております。需用費214万6千円の増額は、修繕料で役場に隣接する既に老朽化した職員住宅を解体し、その後地を役場の駐車場として使用するためのものであります。103ページ、4目町有林管理費88万5000円であります。例年、山火事巡視を沙流川森林組合に委託する委託料であります。

が、30年度に備品購入費で町有林や治山事業の調査のために使用するドローン1台を購入した事業が完了したことなどから、全体で28万5千円の減額となっております。役務費21万5千円の増額は、30年度に導入したドローンに関する手数料で、ドローン協会主催の操作養成講座手数料17万4千円とドローン保険料41万円にかかる経費となっております。104ページ、5目町有林造成費7825万円であります。この費目は町有林の各種整備事業などを計上しておりますが、31年度は17節公有財産購入費で、豊糠の水源涵養・環境林を取得するなど30年度に比べて、全体で820万7千円の増額となっております。次に105ページ、6目広報広聴費689万5千円であります。31年度は町のホームページを改修するための委託料を増やすことなどにより30年度に比べて合計で38万8千円の増額となっております。106ページ、7目支所費637万3千円であります。これは30年度まで、振内支所及び青少年会館の清掃業務の嘱託職員が定年退職し31年度から民間委託になることから、振内合同庁舎等環境管理委託料が265万2千円増化したしますが、一方で工事請負費として平成30年度に行った振内合同庁舎等の煙突改修工事が完了したことにより、30年度に比べて全体で750万7千円の減額となっております。107ページ、8目公平委員会費3万7千円であります。委員会開催に伴う報酬、費用弁償を計上しております。30年度と同額を計上いたしております。次に、108ページ、109ページ、9目企画費1億995万3千円です。30年度に比べ2億4022万7千円の減額となっておりますが、これは30年度までに実施した二風谷地区再整備事業が完了したことなどによるものであります。13節委託料で木質バイオマス熱電併給設備等導入事業の実施計画委託料を新たに計上したことなどにより、30年度に比べて975万円増額しております。19節負担金補助及び交付金では、生活交通確保対策事業費補助金が30年度当初に比べ750万円増加したことなどにより、658万7千円の増額となっております。なお、民間賃貸共同住宅整備費助成金1200万円、住宅リフォーム促進助成金600万円、町民税1%町づくり事業補助金200万円は、30年度と同額の予算を計上しているほか、8節報償費で平取町120年記念事業の一環として二風谷地区再整備地区の一体を二風谷コタンと呼び、そのオープン記念講演会を開催するための講師謝金6万円を組んでおります。110ページ、10目水資源対策費3982万5千円であります。18節備品購入費は30年度に中古の軽トラック購入が完了したことなどによる減となっており、30年度に比較して全体で46万8千円の減額となっております。111ページ、11目交通安全対策費358万円あります。11節需用費は消耗品で交通安全指導員に貸与する被服整備が30年度に比べて減額したこと、同じく修繕料で30年度に振内交通公園の舗装修繕などが完了したことにより、全体で47万1千円の減額となっております。112ページ、12目イオル推進対策費2208万4千円あります。7節賃金で工芸指導員等賃金11名分、11節需用費消耗品費でイオルの空間形成、自然素材活用、

体験交流事業、13節委託料において自然素材モニタリング調査業務224万8千円など、30年度の当初予算までは公益財団法人アイヌ民族文化財団が支払っていたものを31年度からは町で支払う仕組みとなり、その事務が財源とともに同財団から町に移行されたことによって、30年度に比べて全体で1020万1千円の増額となっております。113ページ、13目アイヌ文化情報センター費211万3千円であります。30年度に比べ312万8千円の減額であります。これは30年度13節委託料にあった除雪業務委託料を31年度から商工費の公園管理委託料に移したこと及び文化財課が所有する二風谷工芸館の管理運営に関する経費を教育費、社会教育費に移したことなどによるものであります。114ページ、14目諸費51万7千円であります。19節負担金補助及び交付金の日高西部防犯柔剣道大会負担金が増額したことにより、30年度に比べ1万5千円の増額となっております。115ページ、2款2項1目税務総務費53万7千円であります。30年度に比べ職員旅費を1万円減額いたしております。116ページ、2目賦課徴収費134万8千円で30年度に比べ366万4千円の増額であります。13節委託料は31年度から新たに住民税課税台帳出力項目の記載項目の追加や、地方税共通納税システムの収納消込みに対応する電算システムの改修を実施するとともに、14節使用料及び賃借料は31年度に新しく固定資産管理システムを導入することなどにより、前年度より増額となっております。117ページ、2款3項1目戸籍住民基本台帳費888万3千円あります。14節使用料及び賃借料で住民記録の電算システムがデータ保存の安全性を高めるため、日高管内そろって電算委託会社のクラウド化に移行することにより、住民基本台帳ネットワークシステム使用料が増加することで、30年度に比べて全体で41万5千円の増額となっております。118ページ、2款4項1目選挙管理委員会費64万2千円あります。選挙管理委員報酬など委員会経営経費を、運営経費を計上いたしております。31年度は、委員の費用弁償で委員会の出席回数が増えることなどから30年度に比べ1万4千円の増額となっております。119ページ、2目北海道知事及び北海道議会議員選挙費531万3千円あります。平成31年4月7日に投開票が行われる北海道知事及び北海道議会議員選挙について、30年度予算では平成31年3月末日までの経費を計上し、31年度予算では4月1日以降にかかる経費を計上しているため、投開票日を含む31年度経費が30年度の経費に比べ全体で259万円増額をいたしております。120ページ、3目参議院議員通常選挙費732万1千円あります。平成31年7月に投開票を予定されている3年に1度の参議院通常選挙に関する経費を計上いたしております。121ページ、4目平取町議会議員選挙費600万3千円あります。平成31年4月21日に投開票が行われる4年に1度の町議会議員選挙に関する経費を計上いたしております。122ページ、2款5項1目諸統計費111万5千円です。平成31年度は農林業センサス、工業統計調査が行われるため、これに要する調査員等の報酬を計上したことなどにより、30年度に比

べて67万3千円の増額となっております。123ページ、2款6項1目監査委員費109万2千円であります。監査委員報酬関係事務費について計上しております。30年度は、日高管内監査委員協議会役員会の回数の増加が見込まれることから全体で旅費が3千円の増額となっております。

議長

休憩します。再開は10時15分といたします。

(休憩 午前10時05分)

(再開 午前10時15分)

議長

再開します。

総務課長

次に124ページから125ページをご覧ください。3款1項1目社会福祉総務費2億9716万4千円、30年度に比べて185万1千円の減額であります。8節報償費、13節委託料、及び19節負担金補助及び交付金でアイヌ文化伝統工芸にかかわる人材育成を図るため、地域おこし協力隊を1名から2名に増員し、同じく委託料で平取町アイヌ文化振興基本計画を10年ぶりに見直し、今国会で成立する予定の、所謂アイヌ新法の趣旨に合致するよう計画の内容を改定するための経費を計上することで381万7千円増額し、19節負担金補助及び交付金では町内の実行委員会が計画実施する先住民族国際フォーラムの開催及び外国の少数民族との交流事業を内容とするアイヌ文化国際交流事業補助金を新たに計上することにより、414万1千円の増額といたしております。20節扶助費は障害者福祉サービス費が減額する見込みであることから、扶助費全体では1118万4千円の減額となっております。126ページ、2目老人福祉費2億166万7千円で、30年度に比べ741万2千円の増額であります。13節委託料は要援護者支援台帳システムを新たに導入することなどにより256万9千円増額し、19節負担金補助及び交付金は後期高齢者医療給付費負担金の増加などにより518万9千円の増額となっております。28節繰出金は後期高齢者医療特別会計への繰出しの増加によって256万3千円の増額となっております。127ページ、3目すこやか福祉基金費143万9千円あります。単身高齢者世帯に設置している緊急通報システム管理経費等について計上しております。30年度に比べて7万2千円の減額であります。これは13節委託料で6万6千円の減額が主なもので、緊急通報システム受信センター委託料、端末装置の台数の減少によるものであります。128ページ、4目福祉施設費は623万5千円で、30年度に比べ378万4千円の増額となっております。平成30年度は2年に1度実施するびらとり温泉ゆからの温泉くみ上げポンプの点検修繕施設修繕が完了したことにより、31年度11節需用費は195万1千円減額になった一方、平取かつら園に特殊浴槽を整備事業補助金として573万5千円を新たに支出するものであります。129ページ、5目国民年金費68万2千円あります。13節委託料で国民年金の産前

産後期間の免除対応と免除申請様式の見直しの対応のために、国民年金システム改修業務委託料が増額することなどにより、30年度に比べ33万3千円の増額となっております。130ページ、6目生活館費4389万3千円であります。15節工事請負費で新たに長知内ふれあいセンター周辺整備、豊糠生活改善センターの改修、ペナコリ生活館の改修、みどりが丘住民センターのトイレ改修の各工事を行う予算を計上し、30年度に比べて1361万9千円の増額となっております。131ページ、7目共同作業場費1834万1千円あります。13節委託料でアイヌ工芸伝承館管理業務委託料と、匠の道駐車場用地確定測量委託料を新たに計上しましたが、30年度に民芸品共同作業場の外構と同作業場の代替駐車場等整備工事が完了したことにより、30年度に比べて全体で3630万5千円の減額となっております。11節需用費、30年度に比べて274万1千円減っておりますが、これはアイヌ工芸伝承館の光熱水費などを13節委託料平取町アイヌ工芸伝承館業務委託料に移したことによるものであります。21節貸付金400万円は地域活性化協議会に対し農泊推進事業にかかる資金を貸付けするものであります。なお、11節需用費消耗品費25万円は平取町120周年記念事業の一環としてアイヌ工芸伝承館のオープンセレモニーを実施するための予算となっております。132ページ、8目介護支援費220万円あります。地域包括支援センターの運営に関する事務的経費を計上しております。13節委託料で介護保険対応システムの改修委託料などの減額により、30年度に比べて全体で46万7千円の減額となっております。133ページ、9目ふれあいセンター管理費3032万4千円あります。30年度に比べて102万3千円の増額です。11節需用費はふれあいセンター暖房用重油単価の上昇による燃料費の増加などにより30年度に比べて116万8千円増額するほか、13節委託料はふれあいセンターの中の看板や照明など、天井からの吊りもの装置の点検業務委託料が30年度に完了していることなどから37万3千円の減額となっております。14節使用料及び賃借料で業務量の増加により印刷複合機等の事務機器使用料が増加したことにより、69万9千円の増額となっております。134ページ、10目子供発達支援センター費225万5千円あります。ふれあいセンターの2階にある子供発達支援センターの管理運営に関する経費を計上いたしております。18節備品購入費で整備する備品が少なくなったことから、30年度に比べて全体で5万3千円の減額となっております。135ページ、2項児童福祉費1目児童福祉総務費2753万4千円で、30年度に比べ18万8千円の減額となっております。11節需用費は30年度荷葉保育所でブランコほか遊具の修理が完了したことなどにより、30年度に比較して114万5千円の減少となっております。13節委託料は第2期子ども子育て支援事業計画を策定するための業務委託料を計上したことなどにより355万6千円の増額となっております。20節扶助費はすこやか赤ちゃん誕生祝い金の減少を見込んで、165万円の減額となっております。136ページ、2目児童措置費2億3334万9千円で



あります。7節賃金は幼児教育無償化にかかる事務量の増加に対応するため全額国費により8カ月間臨時職員を雇用するものであります。13節委託料は貫気別の弥生保育園に入所する見込みの園児が減って保育所運営費が減少していることから、委託料全体で30年度に比べ1109万9千円の減額となっております。20節扶助費は児童手当受給対象の児童が減少しているため、30年度に比べ158万円減額しており、この項目全体では30年度と比較して1072万8千円の減額となっております。137ページ、3目児童福祉施設費236万6千円であります。この科目はふれあいセンター2階のびらとり児童館及び振内の児童クラブの運営費について計上しております。30年度と比較して10万2千円の増額となっております。18節備品購入費で児童館・児童クラブ用の備品カラープリンターと加湿器を新たに購入する予算8万7千円を計上いたしております。138ページ、4款衛生費に移ります。4款1項1目保健衛生総務費291万8千円の計上であります。30年度と比較して全体で7万5千円の減額となっております。11節需用費で歯のブラッシング対策事業の消耗品が減ることなどにより6万9千円の減額となっております。139ページから140ページ、2目予防費は各種予防接種経費や健診委託料等について計上しております。370万1千8百円の計上であります。13節委託料でミニ人間ドック健診委託料を増額したことなどにより150万1千円の増額となり、30年度と比較して全体で30万5千円の増額となっております。141ページ、3目保健活動費43万6千円は保健活動業務にかかる職員の出張旅費や事務経費を計上しております。11節需用費修繕料及び12節役務費に関して、30年度にはなかった公用車の車検費用を31年度計上することによりこの項目全体で9万2千円の増額となっております。142ページ、4目環境衛生費1億6554万円であります。廃棄物、し尿処理、ごみ処理組合負担金、有害鳥獣駆除等にかかわる経費について計上しております。30年度と比較して323万5千円の増額となっております。19節負担金補助及び交付金は平取町外2町衛生施設組合に対する負担金が増額となったことなどから、30年度に比べて315万円増額いたしております。ここで平取町外2町衛生施設組合負担金及び胆振東部日高西部衛生組合負担金について、ご説明いたしますので予算説明資料の27ページをお開きいただきたいと思っております。予算説明資料27ページ、平成31年度平取町外2町衛生施設組合負担金計算書No.1について説明いたします。上段の表1番左が費目の区分となっております、1番右に構成町負担金が記載されております。平取町の負担金は右から3列目で、議会費30万4千円、総務費2552万1千円、事業費5743万1千円、公債費1163万6千円、予備費22万9千円、合計9512万1千円。30年度との比較増減で301万8千円の増額となっております。負担割合は、議会費は3町の均等割で、その他は均等割20%、国勢調査人口割80%として算出されております。次に、衛生施設組合全体としての予算規模について28ページをご覧くださいと思います。28ページ、平取町外2町衛生施設組合

負担金計算書No. 2の31年度予算額A欄に記載の歳入歳出各合計欄に記載のとおり31年度5億3220万円で、30年度に比べて比較増減A-Bが2億6930万円の減額となっております。これは事業費の焼却処理施設費で、30年度に焼却施設補修工事が完了したことが主な理由であります。次に、胆振東部日高西部衛生組合予算について説明いたしますので予算説明資料の29ページをお開き願います。予算説明資料29ページ、平成31年度胆振東部日高西部衛生組合一般会計予算比較表について説明いたします。下段の表2歳出、31年度Aの合計1億7966万1千円で、30年度に比較して417万1千円2.3%の減額となっております。31年度し尿収集量の減少及び建物貸付収入の減少などによるものであります。次に31ページをお開き願います。上段、平成31年度関係町別負担金計算書(当初)をご覧ください。右から2列目にある平取町の負担金額は、経費区分1号の議会費等、2号の投資公債費、3号の経常経費合計で下から4行目、条例による算出額Fに記載の2280万9千円となっております。なお、負担金の負担割合は議会費等については、構成5町の均等割、経常経費に関しては国勢調査人口割が35%、収集量割が65%となっております、平取町の負担率は21.1%となっております。続いて予算書の143ページにお戻り願います。予算書143ページ、5目墓地火葬場費186万8千円であります。墓地及び火葬場の管理経費について計上しております。11節需用費修繕料で30年度に貫気別の墓地の階段の改修が完了したことなどにより、平成30年度に比べて全体で46万4千円の減額となっております。19節負担金補助及び交付金で、振内共同墓地自主移転者補助金25万円を計上しておりますが、これは胆振東部地震で被害が大きかった振内の共同墓地について、移転しようとする遺族のために30年9月補正で予算化したものと同様の補助金であります。工事の関係で平成31年3月までに移転することが難しい町民に配慮し、31年度も延長して予算計上したものであります。144ページ、6目診療所費784万4千円あります。30年度に比べ117万5千円の減額となっております。30年度に11節需用費修繕料で平取歯科診療所のボイラー改修が完了したこと、また同じく30年度に18節備品購入費で振内診療所への高圧蒸気滅菌器の導入が完了したことなどにより、全体で117万5千円の減額となっております。145ページ、2項上水道費1目小規模給水施設費4093万2千円あります。31年度は15節工事請負費で新たに去場地区水道配水管整備工事の予算を計上した一方、同設計委託料が30年度で完了していることから、差引合計で30年度に比べて2340万円の増額となっております。146ページ、2目小規模給水施設管理費450万円あります。川向営農用水施設の管理経費等について計上しております。11節需用費光熱水費、電気料の増加、13節委託料、施設管理委託料の増加などで、30年度に比べて全体として10万円の増額となっております。147ページ、4款3項1目排水処理費5850万8千円あります。雑排水処理施設の管理経費等を計上しております。11節需用費修繕料の減少などに

より、30年度に比べ全体で32万2千円の減額となっております。148ページ、これより5款農林水産業費に移ります。5款1項1目農業委員会費69万6千3百円です。ここでは農業委員会の活動経費等について計上しております。9節旅費は3年に1度の農業委員の道外視察に職員が随行するための旅費の計上などにより、21万円の増額、13節委託料は2年に一度行う地籍図の現況重図書込業務委託料が31年度は発生しないことなどにより、30年度に比べて36万3千円の減額となっており、1目農業委員会費全体で30年度に比較して15万1千円の減額となっております。149ページから150ページ、2目農業振興費1億5600万3千円です。農業の振興にかかる各種事業費を計上しております。13節委託料で当初予算として、新たにとまとの里構想推進事業委託料を計上したことなどにより752万2千円の増額、15節工事請負費で30年度にトマト第2選果場野菜選別施設整備事業が完了したことで、30年度に比べて5076万円の減額、19節負担金補助及び交付金は中山間野菜ケナシ地区排水設備事業の事業費が減少することにより町の負担金が減額し、新規就農者用リース農場整備事業に関しては31年度の対象者がいないことなどにより19節全体で6297万2千円の減額、2目農業振興費全体で30年度に比べて1億31万円の減額となっております。151ページ、3目後継者対策費50万6千円です。この項目は農業後継者対策の事務費、農村ふれあい事業補助金について計上しております。農業後継者対策協議会をグリーンパートナー対策協議会に改編するなどの組織やイベントの見直しなどによって、30年度に比べて5万4千円の減額となっております。152ページ、4目畜産業費5458万5千円です。家畜共進会経費、軽種馬消流対策費畜産公社関係費、町営牧野管理委託料などについて計上いたしております。30年度に比べて1347万5千円の増額となっております。13節委託料で町から畜産公社への牧野管理委託料を減額した一方、24節投資及び出資金で畜産公社に対して町から新たに2300万円の増収を行うものであります。153ページ、5項目山村振興等農林漁業特別対策事業費300万円です。金額は30年度と同額となっております。13節委託料で振内トマトジュース工場の管理委託料となっております。154ページ、5款2項1目林業総務費155万7千円、地域緑化推進経費、林野火災予消防対策協議会経費などについて計上しております。19節負担金補助及び交付金で平取町環境保全普及センター改修事業補助金が平成30年度で完了したことにより、250万円の減額となっていることなどから、平成30年度に比べて全体で193万8千円の減額となっております。16節原材料費は30年度に比べ30万円増額しておりますが、これは平取町120周年記念事業の一環として本町地区に桜の木50本を植え、植樹祭を開催するための経費となっております。155ページ、2目林業振興費3023万6千円です。民有林活性化推進事業等の関係事業を計上しております。19節負担金補助及び交付金で31年度から新規に森林環境譲与税が創設され、これに関する間伐促進、作

業路修繕のための補助金1150万円が新たに増加し、またこれに関連し11節需用費消耗品費で木育関係PR用記念品を購入することなどにより、30年度に比べ全体で1078万9千円の増額となっております。156ページ、3目治山治水費2603万1千円であります。生活環境保全林管理委託費及び小規模治山事業費について計上しております。15節工事請負費は小規模治山事業で貫気別の丸山地先での工事を始めますが、30年度完了した水口の沢の工事に比べ事業量が600万円少ないことから、30年度に比べて全体で603万9千円の減額となっております。157ページ、4目林道費5621万4千円で、30年度に比べ2800万円の減額となっております。13節委託料が30年度に比べ3100万円減額となっているのは、30年度に実施した林業専用道川向線の調査設計、林道橋梁点検診断業務委託が完了したことによるものであります。15節工事請負費は、27年度から事業を始めているその他林道オユンベ線改良工事が工事量の増加によって300万円の増額となっております。158ページ、6款商工費に移ります。6款1項1目商工総務費1億6641万8千円、30年度に比較して4999万7千円の増額となっております。ふるさと応援寄附金、所謂ふるさと納税の収入を30年度の1億円から31年度は1億5000万円と見込み、これに伴う経費を計上したものであります。11節需用費はふるさと納税に対する返品などの経費の増加を見込み30年度に比べて2521万5千円増額し、13節委託料はふるさと納税広告配信業務委託料の増額、ふるさと納税システム委託料の増額などにより30年度に比べて1148万4千円増額し、14節使用料及び賃借料はふるさと寄附金システム利用料、インターネット公金支払利用料の増額と、ふるさと納税イベント会場使用料の新規計上で164万円の増額としております。25節積立金は平取町ふるさと応援基金積立金として、30年度に比べ1122万1千円多い3505万7千円を見込んでおります。159ページ、2目商工振興費6036万円であります。19節負担金補助及び交付金で北海道からの補助金算定ルールの変更により、商工会補助金が53万円増額していることなどにより、30年度に比べ全体で46万1千円の増額となっております。160ページ、3目地場産業振興費115万4千円であります。19節負担金補助及び交付金のうち、地場産業振興対策補助金100万円は地場産業の振興に寄与すると認められる試験研究及び設備の導入に関して町が補助するもので、地場産業振興融資資金利子補給費補助金15万4千円は、当該制度を利用して融資を受けた事業者に対する利子補給となっております。30年度に比べ6万8千円の減額となっているのは、利子の金額の減少によるものであります。161ページ、4目地域振興費18万4千円であります。30年度に比べて5万円の増額となっております。市街地再開発に関する管理経費等を計上しております。11節需用費消耗品費はみどりが丘中央線かつら通りポケットパークの花の苗代に、31年度は5年に1度プランター20個6万円を加えて10万円にしております。162ページ、6款2項1目観光振興費3134万3千円あります。3

0年度に比べて全体で189万5千円の増額となっております。11節需用費印刷製本費ではすずらん群生地のパンフレットを更新し、二風谷コタンのパンフレットを新たに作成する経費を計上するなど87万8千円の増額とし、19節負担金補助及び交付金はホームページのリニューアルや平取町120年記念事業の一環として沙流川まつりの経費の増額を行うため観光協会補助金を増やしたことなどにより、30年度に比べ77万2千円の増額となっております。163ページ、2目公園管理費5872万1千円であります。すずらん群生地管理経費及び二風谷ファミリーランドをはじめ、各公園の管理経費について計上しております。30年度対比で161万7千円の増額となっております。11節需用費は修繕料で平成30年度に二風谷ファミリーランドにグランピングを設置し、及びすずらん群生地の観賞道拡幅工事が終了したことなどで232万7千円の減額となっております。13節の委託料は二風谷観光公園の管理面積が増加し管理委託料や除雪業務委託料が増加したことなどにより330万5千円の増額となっております。

議長

休憩します。再開は11時5分といたします。

(休憩 午前10時55分)

(再開 午前11時05分)

議長

再開します。引続き説明を求めます。

総務課長

164ページ、土木費に移ります。7款1項1目土木総務費68万3千円あります。ここには土木関係事務費や加盟団体への負担金を計上いたしております。9節旅費は職員旅費を実績に基づき2万円減額し、11節需用費で建設新聞購読料5万円を新たに計上したほか、19節負担金補助及び交付金では負担金算定方法の変更により3万3千円の減額となっていることで、30年度に比べ全体で3千円の減額となっております。165ページ、7款2項1目道路維持費1億1047万6千円、30年度対比で766万5千円の増額であります。13節委託料で町道維持管理委託料、町道除雪委託料、道路台帳整備委託料がそれぞれ労務単価や燃料費の上昇により増額していることから、30年度に比べ全体で766万5千円の増額となっております。166ページ、2目道路新設改良費1931万3千円あります。13節委託料は振内岩知志線擁壁改修工事実施設計委託など、3つの業務委託が完了したことから30年度に比べて447万8千円減額しております。15節工事請負費は振内岩知志線擁壁改修工事など3つの工事が終了したことから、30年度に比べて1億5250万円の減額となっております。2目全体で30年度に比較して1億5684万円の減額となっております。167ページ、3目橋梁維持費1億7030万円、30年度に比べて7400万円の増額となっております。13節委託料は仁世宇中央橋橋梁詳細設計委託が完了したことから、30年度に比べて3400万円

の減額となっております。15節工事請負費は仁世宇1号橋橋梁架換工事と、トエナイ線旭1号橋橋梁補修工事が始まるため30年度に比べて1億800万円の増加となっております。168ページ、7款3項1目河川維持費2343万2千円であります。普通河川にかかる維持補修費を計上いたしております。13節委託料はオサツナイ沢川調査設計委託料が完了したことにより全体で30年度に比べ144万9千円の減額となっております。169ページ、7款4項1目住宅管理費4640万2千円であります。町営住宅の維持管理経費について計上しております。30年度に比較して23万9千円の減額となっております。13節委託料で雑排水管清掃業務委託料について施工対象箇所が変わり事業量が少なくなることから25万5千円の減額となっております。170ページ、2目住宅対策費860万6千円であります。ここにはアイヌ住宅改良資金貸付金、これにかかる経費並びに選考委員の報酬等を計上しております。平成30年度と同額となっております。171ページ、3目住宅建設費32万4千円、30年度に比べて2万円の減少となっておりますがこれは職員旅費と消耗品費を実績により減額したことによるものであります。172ページ、8款消防費に移ります。8款1項1目消防費19節負担金補助及び交付金日高西部消防組合負担金3億2315万8千円、30年度に比較して2906万6千円の増額となっております。本年度、負担金が増額となった要因は現在、平取消防署に配備されている大型水槽車平取2号車が平成5年に配備されたもので既に25年が経過し老朽化が進んでいるため、31年度にポンプ付大型水槽車に更新することによるものであります。日高西部消防組合負担金について説明いたしますので予算説明資料の26ページをお開きいただきたいと思っております。予算説明資料の26ページ、平成31年度日高西部消防組合負担金についてご説明いたします。上段の表の1番左の費目の区分をご覧願います。議会費の平取町負担金小計①40万円、消防本部費②1840万7千円、へり負担金③17万8千円、共通経費合計(A)1827万5千円であります。負担割合は議会費等が2町の均等割で消防本部及びへり負担金が財政割15%、人口割80%、平均割5%となっております。次に中段の表、署・支署費等小計3億1365万9千円、公債費等小計79万6千円、構成町経費合計(B)3億1445万5千円、歳出合計(A)+(B)3億3273万円、庁舎負担金(D)104万6千円、署・支署歳入(E)1061万8千円を差引き、負担金(C)-(D)は3億2315万8千円となっております。構成町2町合計では9億115万8千円となっております。なお、庁舎負担金は平成27年度に改築されました消防本部庁舎に関する平取町負担金1568万円を28年度から15年分割で支出するものであります。また下段右の表、歳出の30年度との比較で、歳出合計(B)比較増減で3925万9千円の増加となっておりますが、これは先ほどご説明いたしました平取消防施設費で31年度に大型ポンプ車1台を購入することが主な理由となっております。次に予算書173ページにお戻り願います。予算書173ページ、2目災害対策費787万円であります。13節委

託料は防災ガイドマップ作成業務委託が30年度に完了しましたが、31年度新たに要支援者台帳システム整備業務委託料及び防災用地図情報システム保守業務委託料を計上したことから275万6千円の増額となり、18節備品購入費はJアラート全国瞬時警報システムの新型受信機を導入する事業が30年度に完了したことから296万5千円減額し、全体で30年度に比べ24万5千円の減額となっております。174ページ、9款教育費に入ります。9款1項1目教育委員会費204万4千円であります。教育委員の報酬及び費用弁償などについて計上いたしております。30年度と同額となっております。175から176ページ、2目事務局費7534万円であります。7節賃金は小中学校の時間講師1名減により241万円を減額し、14節使用料及び手数料は校務用事務機器使用料で、小中学校のパソコンは現在Windows7のものを使用しておりセキュリティー並びにプログラムエラーに関するサポートが平成32年1月14日で終了することが決まっているためそれまでの間に全90台のパソコンをWindows10に入れ替えなければならないことから、これに必要なリース料を計上したもので14節で294万8千円の増額となっております。19節負担金補助及び交付金は30年度対比81万円の増額となっておりますが、これは平取高校の入学志願者の増加により通学費、制服購入補助金が増加することが主な理由であります。30年度に比べて2目事務局費全体で87万7千円の増額となっております。177ページから178ページ、9款2項小学校費1目学校管理費1億6973万2千円、30年度に比べて3039万9千円の増額となっております。13節委託料は学校管理委託料で振内小学校の校舎管理をしていた町の嘱託職員の公務補が定年退職となるため民間委託することにより学校管理費が増加するなど委託料で30年度対比457万8千円増額し、15節工事請負費は30年度で紫雲古津小学校体育館屋根改修及び同校舎外壁改修工事が完了しましたが新たに紫雲古津小学校グラウンド整備工事、平取小学校省エネルギー化設備導入工事、貫気別小学校屋根改修工事、教員住宅解体工事を着工することにより、30年度に比べて2570万3千円の増額を計上しております。179ページ、9款2項小学校費2目教育振興費1750万円、30年度に比べ75万9千円の減額となっております。17節公有財産購入費で児童用パソコン等購入費が30年度に比べて752万2千円の減額となっております。これは平成26年度に購入したものが30年度でその償還が完了したことによるものであります。18節備品購入費社会科副読本を更新し小学校教科指導書を購入するため、30年度に比べて640万円の増額となっております。180ページ、3目学校建設費1億4626万3千円あります。13節委託料で二風谷小学校校舎大規模改修工事实施設計委託料を新たに計上し、15節工事請負費で振内小学校大規模改修工事を計上したことにより、30年度に比べて1億4070万9千円の増額となっております。181ページ、9款3項中学校費1目学校管理費6513万2千円あります。中学校の管理経費について計上しております。30年度に比べ2370万2千

円の増額となっております。15節工事請負費は平取中学校省エネルギー化設備導入工事で学校施設にLED照明を導入するもので、30年度に比べて231万3千円の増額となっております。19節負担金補助及び交付金は遠距離通学費補助金が増となり127万9千円の増額であります。182ページ、2目教育振興費745万1千円、30年度に比べ411万7千円の減額であります。17節公有財産購入費で生徒用パソコン等購入費が30年度に比べて419万4千円の減額となっております。これは平成26年度に購入したものが30年度で償還が完了したことによるものであります。18節備品購入費は中学校の道徳の指導書購入が完了したため30年度に比べて60万円の減額となっております。183ページ、9款4項1目社会教育総務費1700万5千円、30年度に比べ69万2千円の増額となっております。8節報償費について平取町120周年記念事業の一環として31年10月に淡路人形浄瑠璃を招いて中央公民館で芸術鑑賞会を開催するため出演者に対する謝金を計上いたしております。また新たに町内在住外国人日本語教室を開催するとともに学校運営協議会委員報酬を計上することなどにより、30年度に比べて92万9千円の増額となっております。19節負担金補助及び交付金は30年度青少年国際交流事業が完了したことなどにより105万円の減額となっております。184ページ、9款4項2目公民館費4635万円であります。中央公民館の管理運営費について計上しております。30年度に比較して1715万9千円の増額となっております。11節需用費は30年度に比べ118万7千円の減額であります。これは中央公民館2階トイレ修繕が完了したことによるものであります。15節工事請負費では新たに中央公民館省エネルギー化設備導入工事として、照明のLED化と変圧器の更新などを実施するものであります。18節備品購入費は30年度に大ホールの椅子購入事業が完了したことにより281万9千円減額いたしております。185ページ、186ページ、9款4項3目文化財保護費3943万1千円であります。文化財審議会、二風谷アイヌ文化博物館管理費、アイヌ文化体験学習事業などについて計上しております。30年度に比べ568万8千円の減額となっております。11節需用費は、修繕料で30年度は博物館前の4号チセの屋根の葺き替えと床の貼り替えを行った事業が完了したことなどにより、30年度に比べて265万8千円の減額となっております。13節委託料は平取町開拓財産展示制作委託料が30年度完了したことなどにより、30年度に比べて324万9千円の減額となっております。

187ページ、9款4項4目埋蔵文化財保護費54万7千円であります。この科目は事業の実施に伴って遺跡が発掘された場合に緊急的に試掘するための調査作業員賃金、機械借上料、連絡車の使用料などを計上しております。30年度に比べ1万7千円の減額となっております。9節旅費1万円の減額は日高管内社会教育職員研究協議会学芸部会が、31年度は平取町で開催されるため出張を要しないことによるものであります。188ページ、9款4項5目沙流川



歴史館管理費348万7千円であります。歴史館の管理経費を計上しております。9節旅費は31年度沙流川歴史館講座の外部講師招聘を行わないため10万8千円減額し、14節使用料及び賃借料はコピー機使用料などの経費が減額しているため5目全体で30年度に比べ8万8千円の減額となっております。189ページ、9款4項6目二風谷工芸館管理費126万3千円であります。2款1項13目アイヌ文化情報センター費から一部分離して平成31年度からの新しい項目を作ったもので、アイヌ文化情報センター費はアイヌ施策推進課が担当し、二風谷工芸館管理費は文化財課の担当としたものであります。7節賃金は二風谷工芸館代替管理人賃金2名分と工芸館の管理運営に必要なクラフト包装紙などの消耗備品費、電話料を内容とする通信運搬費、備品は電子レジスターを購入するものであります。190ページ、7目図書館費736万9千円図書館の管理運営に関する経費を計上しております。30年度に比べて74万8千円の減額となっております。14節使用料及び賃借料は図書館システムのリース期間が満了し無償譲渡を受け経費が発生しなくなるなどから、30年度に比べ122万6千円の減額となるものであります。191ページ、9款5項1目保健体育総務費421万円であります。スポーツ教室講師謝金、各種スポーツ団体への補助金など、スポーツ振興のための予算項目となっております。30年度に比べ8万6千円の減額であります。19節負担金補助及び交付金で平取町スポーツ少年団本部補助金が減額したほか、平取町120年記念事業の一環として北海道日本ハムファイターズ野球教室を開催するための補助金として18万円を新たに計上いたしております。192ページ、9款5項2目体育施設費5125万1千円あります。町民体育館、振内青少年会館、貫気別町民センター、旧荷負小学校及び町民プールの管理経費を計上しております。30年度に比べて2413万9千円の増額であります。11節需用費は燃料費の単価アップなどにより、30年度に比べて146万2千円の増額となっております。15節工事請負費は町民体育館省エネルギー化設備導入工事で、町民体育館の照明をLED化し変圧器を更新するものであります。193ページ、9款6項1目学校給食費3417万4千円、30年度に比べて25万7千円の増額となっております。小学校、中学校に学校給食を提供するための管理経費を計上いたしております。11節需用費は燃料単価のアップにより30年度に比べて20万1千円の増額となっております。194ページ、10款1項1目現年発生災害復旧費64万5千円あります。この科目は災害発生時の応急復旧費等について計上しております。19節負担金補助及び交付金で北海道災害復旧促進協会特別負担金が30年度と比べて5万5千円の減額となっております。195ページ、11款1項公債費1目元金6億487万2千円起債の借入元金の償還金となっております。28年台風災害による償還が31年度より始まるため、30年度に比べ2435万4千円の増額となっております。なお、各起債区分ごとの償還予定、現在高については215ページに記載をいたしております。196ページ、11款1項公債費2目利子、償還金利子及び割

引料3067万円起債の金利償還分であります。30年度に比べ613万円の減額となっております。一時借入金利子は150万円を計上いたしております。

197ページ、12款1項1目国民健康保険病院特別会計繰出金3億5478万2千円であります。町民に対する適切な医療サービスを提供するために一般会計から国保病院会計に対して事業の運営資金を補てんするものであります。

198ページ、2目簡易水道特別会計繰出金、一般会計から水道会計に対して経営の安定のために事業の運営資金を補てんするものであります。6921万7千円を計上しております。

199ページ、12款2項1目平取町財政調整基金積立金308万5千円であります。この項1目から206ページの8目平取町金券基金積立金を除く207ページの9目平取町地域雇用創出基金積立金に関しましては、金融機関預入等の利率を0.03%から0.08%として積算しその利子分を積み立てるものでありますので説明は省略させていただきます。次に206ページをお開き願います。206ページ、12款2項8目平取町金券基金積立金670万円は中学生以下の町民の医療費の自己負担分を実質無料にするための子育て支援医療費還元事業に関するもので、町が当該医療費相当分を町内で使える金券に変えて発行するものであります。30年度と同額を計上しております。次に208ページをお開き願います。208ページ、13款1項1目予備費であります。30年度と同額の500万円を計上しております。以上で歳出に関する説明を終了いたします。続いて歳入に関する説明を行いますので11ページをお開きいただきたいと思っております。予算書11ページ、歳入について説明いたします。1款1項1目町民税個人1節現年度課税分2億4348万6千円、均等割は納税義務者2394人とし税額3500円、収納率98%で収入見込額821万1千円を見込んでおります。所得割は課税所得を30年度と比べ2億418万3千円増加の40億1671万7千円と見込み平均税率6%を掛けて算出した税額を2億4100万3千円とし、これから住宅借入金等控除分を差し引いた金額に収納率98%を乗じた収入額を2億3527万5千円として計上しております。1節合計では30年度に比較し1227万5千円の増額となっております。2節滞納繰越分は収納率を15%と見込み222万7千円を計上し1目合計で1239万3千円の増額を見込んでおります。

12ページ、1款1項2目法人1節現年度課税分2599万9千円あります。均等割は30年度と比べ4社多い134法人1230万5千円を計上しております。法人税割は本年9月までは税率12.1%、国の税制改正により10月以降は8.4%で1369万4千円と見積もり30年度予算対比で110万2千円の増加を見込んでおり、2目合計としては30年度より153万7千円の増額となっております。

13ページ、1款2項1目固定資産税1億7269万4千円あります。1節の現年課税分の土地については30年度中の地目変更等を積算し課税標準額を19億1800万円とし、税率を乗じた算出税額から生活保護等の減免額を控除した調定見込額に収納率97%を掛けた収入見込額を2600万3千円としております。家屋は新築・増築・滅失等を積

算し課税標準額を50億6692万9千円として算出される税額に新築等減免額を控除し収納率97%を乗じた6729万4千円を収納見込額としています。償却資産は申告書等により課税対象の把握を行い課税標準額を30年度対比4億5757万2千円増の56億5914万3千円とし税率を乗じた調定見込額に収納率97%を掛けて収納見込みを7685万1千円としております。滞納繰越分は収納率15%を見込み254万6千円、1目合計では30年度に比べ846万2千円の増額としております。14ページ、1款2項2目国有資産等所在市町村納付金及び交付金1086万2千円を計上してしております。国有林野・道有資産・北海道開発局管轄の資産など国や道等から、所有する収益的な事業に使われる資産について固定資産税のかわりに国から交付されるものとなっております。15ページ、1款3項1目軽自動車税1481万3千円1節現年課税分で30年度に比べ30万6千円増の1462万9千円としております。環境性能割23万3千円は平成28年度の税制改正により31年10月から自動車取得税が廃止され、新税として消費税増税に合わせて導入されるものであります。2節滞納繰越分は収納率を15%とし18万4千円の収入を計上してしております。16ページ、1款4項1目町たばこ税で3734万7千円旧3級品は平成30年度決算見込みから49万4770本と見込み税率を乗じた調定額で197万8千円を計上してしております。旧3級品以外は30年度の決算見込みから621万3940本とし税率を乗じた調定額を3536万9千円と見込んでおります。17ページ、1款5項1目入湯税はびらとり温泉ゆからの宿泊者を8000人と見込み税率1人150円を乗じて120万円の税収を見込んでおります。18ページ、2款1項1目地方揮発油譲与税は平成30年度決算見込み数値に地方財政計画等の推定交付率を乗じて1930万円と見込んでおります。19ページ、2款2項1目自動車重量譲与税であります。国税としての自動車重量譲与税を市町村道の延長、面積に応じその3分の1が地方に交付されるもので、平成30年度決算見込み数値に地方財政計画等から予想される推定交付率を加味し、30年度対比140万円減の4740万円を見込んでおります。20ページ、2款3項1目森林環境譲与税であります。平成30年度税制改正で決定され平成31年度より新たに町に対して譲与されるものであります。譲与基準として市町村には私有林、人工林面積、林業就業者数、人口で案分計算され平取町は1250万円の金額となっております。用途は森林環境及びその促進に関する費用に充当されることになっております。21ページ、3款1項1目利子割交付金これは貯蓄などに伴い生じる利子の額に応じて徴収される利子課税のうち5%は道民税となり、このうちの5分の3は市町村の個人道民税の額に応じて市町村に配分され交付されるものであります。平成30年度決算見込み数値により30年度同額の100万円と見込んでおります。22ページ、4款1項1目配当割交付金であります。これは上場株式等の配当に対し北海道が課税し、そのうちの59.4%相当額が市町村に交付されるものであります。30年度決算見込数値に地方財政計画等から予想される推定交付

率を勘案し30年度と同額の80万円を見込んでおります。23ページ5款1項1目株式等譲渡所得割交付金であります。これは株式等の配当に対し道が課税し、そのうちの59.4%相当額が市町村に交付されるものとなっております。30年度同額の80万円を見込んでおります。24ページ、6款1項1目地方消費税交付金であります。消費税は平成26年度の法改正で現行8%の消費税の内訳は国税分6.3%、地方税分1.7%として徴収されており、地方税分のうち2分の1が都道府県に、残りの2分の1が人口と従業員数の割合で市町村に配分され、国から北海道を通じて町に交付される仕組みとなっております。平成30年度の決算見込数値に31年度10月からの増税分を加味した地方財政計画等から予想される推定交付率を勘案し、30年度と比べ369万3千円増額の1億円の収入を見込んでおります。25ページ、7款1項1目ゴルフ場利用税交付金です。これはゴルフ場を利用した利用者に課税される地方税でゴルフ場の利用者数を30年度実績等から推計し1万1250人と見込み、税率1人400円、これから道税を控除した残り95%の額に10分の7を乗じた額300万円の収入を見込むものであります。30年度と同額の300万円を計上しております。26ページ、8款1項1目交通安全対策特別交付金であります。これは交通違反の反則金を財源として交付されるもので過去の収入実績等から30年度と同額の70万円を見込んでおります。27ページ、9款1項1目地方特例交付金であります。これは国の恒久減税等による市町村の減収を補てんするために交付されるもので本年10月に予定されている消費税増税に伴う減収見込分が補てんされることから、30年度から50万円増額の110万円を計上いたしております。28ページ、10款1項1目地方交付税であります。31年度一般会計の歳入のうちその半額近くの47.0%を占める当町にとって最も大きな財源となっております。国の31年度の地方財政計画における交付税総額は、30年度に比べて1.1%増の16兆1809億円が地方に交付されることとなっております。普通交付税は24億7000万円を計上し、30年度に比べ5100万円の増額を見込んでおります。普通交付税の当町の30年度の決算見込額が25億404万4千円となっていることからこの見込額に27年度国勢調査における人口及び単位費用などを置換え算定をいたしております。当初予算比較では2.1%の増、30年度決算見込みでは1.4%の減の予算計上としております。特別交付税は30年度予算対比100万円増の3億4700万円を計上しております。本年度予算では30年度より5200万円多い28億1700万円の計上となっております。

議長

休憩します。再開は1時といたします。

(休憩 午前11時50分)

(再開 午後 1時00分)

議長

再開します。休憩前に引き続き説明を求めます。総務課長。

それでは議案書29ページをお開き願います。11款1項1目自動車取得税交付金であります。これは道税収入の95%の10分の7が市町村道の面積割合などに応じて交付されるものであります。自動車取得税は31年10月からの消費税増税に伴い廃止となる見込みでありますので、30年度と比べて535万6千円減額の900万円を計上いたしております。30ページ、12款1項1目、環境性能割交付金583万3千円であります。これは本年10月からの消費税増税に伴い自動車取得税が廃止され新しく導入されるものであります。環境性能割は燃費性能のよい車は税負担が軽くなり、環境性能の悪い車は税負担が重くなるという性質を持ち現行の自動車取得税と全体的には似たような制度であります。自動車税環境性能割として徴収した分の65%が市町村に交付金として配分されます。金額の算出についてはこの制度が始まる31年10月から32年3月分までの見込みとして29年度交付金ベースで算出をいたしております。31ページ、13款1項1目民生費負担金1節児童福祉費負担金、これは常設保育所及び町のへき地保育所の保育料となっております。常設保育所分は所得基準に基づいての徴収となりますが、国の基準により算出した額4262万3600円から町の施策による軽減分として2360万9600円の町負担を控除した1901万4千円と、滞納分63万5千円の収納見込み率30%19万5千円を合わせて1920万4千円を計上しております。へき地保育所保護者負担については1人目1万円、2人目以降5千円で42名分444万円を見込んでおり、総額で2364万4千円を計上しております。32ページ、14款1項1目総務使用料1461万円であります。1節単身者住宅使用料は振内の単身者住宅の使用料で月額2万7千円の12戸分、空き室等を考慮し95%の稼働率とし30年度と同額の370万9千円を見込んでおります。2節情報通信施設使用料は光ファイバー回線網の使用料で、内訳としてはインターネット回線としてNTTに貸与する一戸当たり月額756円の12カ月分1120件1025万4千円と、振内貫気別局の通信設備保管料44万3千円合わせて1069万7千円の収入を計上しております。ケーブルテレビ使用料は現年分として15万円を計上しております。携帯電話の伝送路使用料はNTTドコモとソフトバンクモバイル2社に月額756円の12カ月分5万4千円を見込んでおります。33ページ、14款1項2目民生使用料403万2千円あります。1節老人福祉寮使用料は貫気別の老人福祉寮の使用料で入所者月額7千円の12カ月分6名分と寮母月額1万円の12カ月の使用料、合計62万4千円を計上しております。3節共同作業上使用料106万円は、アイヌ工芸伝承館が31年4月に正式にオープンとなりますが本年度の31年度の利用計画を見込み計上したものであります。34ページ、14款1項3目衛生使用料は墓地使用料と斎場使用料で前年同額の38万8千円を計上しております。35ページ、14款1項4目土木使用料9361万4千円、1節土木管理使用料、2節道路占有使用料、3節河川使用料は使用実績等により計上しております。4節町営住宅使用料6486万1千円は30年度の実績により394校分

の使用料と収納率、滞納分を見込み前年同額を計上しております。5節排水処理施設使用料は30年度実績と滞納繰越分により、前年より11万7千円減の2736万1千円を計上しております。36ページ、14款1項5目教育使用料861万円です。1節体育施設使用料、3節公民館使用料は使用実績等により30年度と同額を計上しております。2節アイヌ文化博物館使用料は入館者数の増加により前年度より150万円増の800万円を計上しております。37ページ、14款1項6目農林水産使用料983万4千円、1節は町営牧場の使用料で30年度実績等をもとに積算し31年度から乳用牛の入牧が増加することが見込まれていることから222万3千円増の923万4千円を見込んでおります。2節環境保全普及センター使用料は30年度までは指定管理で沙流川森林組合が施設の管理等をしておりましたが31年度からは指定管理者制度廃止し新たに管理委託を結び使用料徴収するかたちといたしましたのでその分についての計上をしております。38ページ、14款1項7目商工使用料729万円です。内訳は説明欄に記載のとおりであります。30年度の実績額等をもとに31年度の見込みを計上しております。39ページ、14款2項1目総務手数料318万8千円内訳は説明欄に記載のとおりであります。30年度の実績額等をもとに計上をいたしております。40ページ、14款2項2目衛生手数料畜犬登録手数料22万4千円は30年度の実績により同額で計上しております。41ページ、14款2項3目農林水産手数料農用地登記事務手数料2万3000円は過去の実績に基づき30年度と同額で計上をいたしております。42ページ、国庫支出金に移ります。15款1項1目民生費国庫負担金2億850万6千円です。1節社会福祉費負担金のうち障害者自立支援費負担金7700万円は障害福祉サービス等などに充当しております。2節児童福祉費負担金7324万円は常設保育所及びへき地保育所の運営にかかる負担金となっております。3節は児童手当にかかる国庫負担金で3歳児未満、3歳から小学校終了までの第1子から第2子、第3子以降、中学生それぞれの段階ごとに定めた率をもとに積算をされております。4節保険基盤安定費負担金は国民健康保険加入者への支援となる国庫負担金となっております。43ページ、15款2項1目総務費国庫補助金1793万3千円であります。1節の総務管理費補助金はマイナンバー制度実施及びマイナンバーカードの発行及びシステム運営整備にかかる国からの補助金となっております。2節企画費補助金は社会資本整備総合交付金として二風谷地区、再編整備事業に充当される補助金であります。3節財産管理費補助金1209万9千円は家賃低廉化事業交付金として町営住宅の基準住宅料と実質入居者にかかる住宅料の差額相当分について交付されるものであります。44ページ、15款2項2目民生費国庫補助金719万円、1節社会福祉費補助金の障害者自立支援費補助金は障害者及び障害児が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう地域の特性に応じて柔軟な形態により事業を行うための補助金となっております。金額が30年度に比べて大きく減になっているのは農山漁村振興交付金、共同作業場整備の整

備完了及び当初予算に計上していた農泊関係補助金が31年度はなくなるため  
であります。2節の児童福祉費補助金子ども・子育て支援交付金156万3千  
円は振内児童クラブの運営費にかかる補助金となっております。45ページ、  
15款2項3目衛生費国庫補助金169万8千円は1節保健衛生補助金循環型  
社会形成推進交付金は合併浄化槽の設置にかかる国の補助金となっており、5  
人槽6基、7人槽2基分を見込み99万8千円となっております。健康増進事  
業費補助金70万円は後期高齢者健診事業に充当しており30年度の実績額等  
を元に計上をしております。46ページ、15款2項4目土木費国庫補助金1  
億1682万円であります。1節道路橋梁費補助金仁世宇1号橋整備事業、橋  
梁長寿命化橋梁補修事業、道路付属物点検事業は事業費の10分の6、49の  
額で積算をいたしております。47ページ、15款2項5目教育費国庫補助金  
4187万3千円であります。1節教育総務費補助金はへき地児童生徒援助費  
等補助金で心臓検診費用への補助金となっております。2節小学校費補助金は  
振内小学校大規模改修にかかる学校施設環境改善交付金と要保護児童生徒援助  
費となっております。4節社会教育費補助金は文化的景観保護推進事業補助金  
として30年度に引続き調査費用等に充当するための補助金となっております。  
48ページ、15款3項1目総務費国庫委託金4623万1千円あります。  
1節総務費委託金3872万5千円は平取ダム建設にかかるアイヌ文化の  
保全対策に関する調査事務に対する国からの委託金となっております。2節戸  
籍住民基本台帳費委託金は中長期で在留する外国人労働事務に関する国からの  
委託金となっております。3節選挙費委託金は参議院議員通常選挙にかかる国  
からの委託金であります。49ページ15款3項2目民生費国庫委託金215  
万6千円あります。1節国民年金委託金と2節児童手当委託金はいずれも当  
該事務に関する国からの委託金となっております。50ページ、15款3項3  
目商工費国庫委託金700万円です。二風谷ダム周辺的环境維持管理にかかる  
国からの委託金となっております。51ページ、15款3項4目教育費国庫委託  
金1100万円あります。1節沙流川歴史館管理費委託金は沙流川歴史館の  
管理に関して国から受ける委託金となっております。2節アイヌ語のアーカイ  
ブ作成支援事業委託金は文化庁のアイヌ語のアーカイブ作成事業を活用しアイ  
ヌ語音声資料の文字化、翻訳作業にかかる国からの委託金となっております。  
52ページ、道支出金1億1787万3千円あります。16款1項1目民生  
費道負担金であります。1節社会福祉費負担金から4節保険基盤安定費負担金  
までは国庫負担金で説明いたしました内容に関する北海道からの負担分につい  
てそれぞれの金額を計上しております。4節の保険基盤安定負担金の国民健康  
保険基盤安定負担金は保険料の軽減分として、道から負担金1183万1千円、  
保険者支援分として285万2千円の合計1468万3千円を計上してしま  
す。後期高齢者医療保険基盤安定費負担金は後期高齢者医療特別会計繰出金の  
保険基盤安定分2137万2千円の4分の3である1602万9千円が北海道  
から交付されるものであります。53ページ16款2項1目総務費道補助金3

473万2千円であります。1節財産造成費補助金2946万5千円は町有林造成事業にかかる補助金で造林事業28ヘクタール、下刈事業136.28ヘクタール、除間伐54.8ヘクタール、森林保護・野鼠駆除に対して北海道から交付されるものであります。2節企画費補助金の電源立地地域対策交付金は岩知志発電所の所在町として交付され病院会計への繰出金に充当することを予定しております。土地利用規制等対策事業市町村交付金5万4千円は国土法の土地届出事務に対して交付されるものであります。54ページ、16款2項2目民生費道補助金2941万4千円であります。1節社会福祉費補助金の重度心身障がい者医療費補助金531万1千円は医療費に充当され、民生委員活動費補助金176万1千円は民生委員の活動費に、障害者自立支援費補助金は障害者相談支援経費等に、地域づくり総合交付金は子供発達支援センター運営費に、それぞれ充当される補助金となっております。2節老人福祉費補助金の地域づくり総合交付金は要援護者支援台帳システム整備に、老人クラブ運営事業補助金は老人クラブの運営費に、権利擁護人材育成事業補助金は認知症高齢者等の権利擁護に携わる人材の育成を目的とした研修会の開催費用等に充当されるものであります。3節の生活館運営費補助金は町内にある12の生活館運営費に対する補助金となっております。4節児童福祉費補助金の多子世帯保育料軽減支援事業補助金は常設保育所の保険者負担の軽減に対する補助金、乳幼児医療費補助金250万3千円、子ども子育て支援交付金156万3千円はふれのない児童クラブ運営費、乳児家庭全戸訪問事業にかかる補助金、ひとり親家庭医療費補助金84万3千円はひとり親家庭等医療費に、それぞれ充当されるものとなっております。55ページ、16款2項3目衛生費道補助金1121万2千円、1節保健衛生費補助金鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業補助金926万4千円はエゾシカ・アライグマ駆除事業に充てるものであります。地域づくり総合交付金133万円はエゾシカ駆除事業に充当されるものであります。妊産婦安心出産支援事業補助金31万8千円は出産可能な産科医療機関までの距離が遠いことによる妊産婦さんの負担軽減を図るため交通費と宿泊費の一部を助成する事業に充当されます。消費・安全対策交付金は食育推進事業に充当されるものであります。56ページ、15款2項4目農林水産業費道補助金であります。金額の大きなものについて説明いたします。1節農業費補助金中山間地域等直接支払交付金は30年度とほぼ同額の3484万4千円、農業次世代人材投資資金事業は対象者9件分を見込み1837万5千円を計上しております。3節林業振興費補助金未来につなぐ森づくり推進事業補助金は30年度より137万6千円減の417万8千円を計上しております。4節治山治水費補助金は小規模治山事業貫気別丸山地先の整備として950万円を計上しております。5節林道費補助金は継続事業の林道オユンベ線改良事業補助金、30年度より87万円増の1587万円を計上しております。57ページ16款2項5目土木費道補助金であります。1節住宅改良費補助金190万円をアイヌ住宅改良資金貸付事業に対する補助金で対象事業費の4分の1が交付されます。



30年度と同額となっております。58ページ16款2項6目消防費道補助金  
消防費道補助金320万円は地域づくり総合交付金の道補助金となりますが、  
災害発生時に支援が必要な方の支援者台帳システムに250万円、災害時にお  
ける食料などの防災備蓄品整備に70万円が充当されます。59ページ16款  
2項7目9教育費道補助金1節社会教育費補助金416万6千円、放課後子ども  
教室推進事業補助金316万円は紫雲古津・二風谷・貫気別の3地区で実施  
している教室の運営費等に対し交付されるものであります。30年度とほぼ同  
額で計上しております。地域づくり総合交付金芸術鑑賞会等開催事業100万  
円は、10月に開催を予定している淡路人形浄瑠璃講演の開催事業に充当する  
ものであります。60ページ、16款3項1目総務費道委託金1420万6千  
円、1節から5節については説明欄に記載の委託金として計上いたしてありま  
す。5節選挙費委託金531万円は4月に投開票が行われる北海道知事及び北  
海道議会議員の選挙費用に対する委託金を計上いたしてあります。61ページ  
16款3項2目農林水産業費道委託金であります。道営農業農村整備事業補助  
監督等委託金42万4千円は、長知内・幌毛志地区の地すべり防止区域の点検  
調査等にかかわる費用に対して北海道から交付される委託金であります。62  
ページ、17款1項1目財産貸付収入1節土地建物貸付収入4109万4千円  
であります。土地貸付料644万1千円は有償の一般貸付分101件のほか、  
北電、NTTの電柱、町営牧野等の貸付料となっております。63ページ、1  
7款1項2目1節利子及び配当金は170万6千円であります。財政調整基金  
及び各種特定目的基金の利子について計上をしております。64ページ、17  
款2項1目不動産売払収入3050万2千円、1節不動産売払収入の土地売払  
代50万1千円は二風谷分譲宅地1区画分の売払い収入を見込んであります。  
2節その他不動産売払収入は町有林の立木売払い代金を計上しております。い  
ずれも30年度と同額の計上としてあります。65ページ、17款2項2目1  
節物品売払収入1万円です。町史等の売払代金1万円を見込んであります。6  
6ページ、18款1項1目1節寄附金30年度見込みから5000万円増額の  
1億5000万円を見込んであります。これはふるさと応援寄附金、ふるさと  
納税の収入を見込んで計上をしております。67ページ、19款1項1目1節  
平取町財政調整基金繰入金9000万円であります。国保病院会計への繰出金  
4000万円及び公債費の元金償還分5000万円に充当する予定であります。  
68ページ、19款1項2目1節沙流川ダム地域振興基金繰入金2億30  
00万円あります。充当事業は道路施設整備事業ほか19事業に充当するも  
のであります。内訳についてはお手元にお配りしている資料をお読取り願いま  
す。平成31年度各基金積立・取崩の状況に記載のとおりとなっております。  
69ページ、19款1項3目1節平取町ふるさと応援基金繰入金3000万円  
であります。

アイヌ文化国際交流事業ほか9事業に充当するものであります。内訳は先ほど  
のお手元の資料をお読取りいただきたいと思っております。70ページ、20款1項

1目1節繰越金は30年度繰越金3000万円を計上しております。30年度の歳出予算における繰越金は繰越事業の一般財源を除き約9000万円程度を見込んでいたところですが、それとの差額分については留保財源とするものであります。71ページ、諸収入に移ります。21款1項1目延滞金1万円、これは町税延滞金で30年度と同額で計上しております。72ページ、21款2項1目1節預金利子は30年度と同額の1万円を計上しております。73ページ、21款3項1目1節国民健康保険病院特別会計貸付金元利収入441万7千円であります。平成22年度に国保病院事業会計に貸し付けた4400万円に関する元利償還金であります。74ページ21款4項1目1節社会福祉資金貸付金元利収入は31年度の貸付金償還金80万円、滞納分14万円の40%である5万6千円、合わせて85万6千円を計上しております。75ページ、21款4項2目1節中小企業融資資金貸付金元金収入3225万7千円は、特別融資資金3025万7千円、経営改善融資資金200万円を計上し、新規既存分の金融機関への預託金の収入を計上しております。76ページ、21款4項3目1節畜産 公社貸付金元利収入304万6千円は畜産公社への貸付金にかかわる元利収入を計上しております。77ページ、21款4項4目1節住宅改良資金貸付金元利収入はアイヌ住宅改良資金貸付金の元利償還金現年分541万2千円、滞納繰越分532万8千円、合わせて1074万円を計上しております。78ページ、21款4項5目1節勤労者生活安定融資資金貸付金元金収入預託金収入1600万円を計上しております。79ページ、21款4項6目1節振内歯科診療所運営資金貸付金元金収入12万円は振内診療所に対する貸付金の償還元金の収入を計上しております。80ページ、21款4項7目1節平取町奨学資金貸付金元金収入179万2千円は奨学資金貸付者10名分の償還金を計上しております。81ページ、21款4項8目1節二風谷民芸組合運営資金貸付金元金収入400万円は二風谷民芸組合が実施するアイヌ伝統工芸品産業支援事業の資金繰りのために、一時貸し付けを行うことによる貸付金の元金収入となっております。82ページ、21款4項9目1節平取町地域活性化協議会貸付金元金収入820万円は平取町地域活性化協議会が実施する実践型地域雇用創造事業及び農泊推進事業の資金繰りのために、一時貸付けを行うことによる貸付金の元金収入となっております。83ページ、21款4項10目1節平取アイヌ協会貸付金元金収入162万円は平取アイヌ協会が実施する機動職業訓練事業の資金繰りのため町が一時貸付けを行うことによる貸付金の元金収入であります。84ページ、21款4項11目1節トマト・和牛フェア実行委員会貸付金元利収入150万円はトマト・和牛フェアを実施するにあたり、実行委員会の資金繰りのため町が一時貸付けを行うことによる貸付金の元金収入であります。85ページ、21款4項12目1節平取町二風谷国際先住民族フォーラム2019実行委員会貸付金元金収入500万円は、31年10月に国際先住民族フォーラムを開催するに当たり実行委員会の資金繰りのため町が一時貸付けを行うことによる貸付金の元金収入であります。86ページ、

21款5項1目雑入であります。1億5411万2千円を計上し、30年度に比べて7747万7千円の増額となっております。1節企業負担金、これは畜産公社からの負担金で内訳は事務所費40万円となっております。雑入は主なものについて説明いたします。日高地方税滞納整理機構負担金は30年度から滞納整理機構へ町から職員を派遣している人件費分の756万6千円であります。二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金5098万5千円は、平取小学校、平取中学校、中央公民館、町民体育館、振内町民センターのLED照明灯の補助金であります。再生可能エネルギー電気・熱自立的普及促進事業補助金は、木質バイオマス熱電併給設備に関する実施設計補助分として1066万6千円を計上しております。豊糠・幌尻林道シャトルバス利用者負担金は、1300人の利用を見込み520万円を計上しております。アイヌ文化振興・研究推進機構委託金はイオル整備事業等にかかる負担金で、財団から引継いだ事業も多いことから前年より931万6千円増の1966万8千円を計上しております。子ども発達支援センター運営費負担金は30年度より24万1千円増の544万5千円、特例障害児通所給付金は30年度より115万4千円減の474万6千円、いきいきふるさと推進事業助成金90万円は鶴川・沙流川WAKUWAKU協議会活性化事業に充当されるものであります。87ページ、町債に移ります。22款1項1目1節総務債6460万円であります。内訳は説明欄に記載のとおりとなっております。すべて元利償還額の70%が交付税措置される過疎対策事業債、いわゆる過疎債を予定しております。平成30年度は二風谷地区再編整備事業が完了したため、31年度は30年度に比べて2億2060万円減額しております。88ページ、22款1項2目1節民生債1630万円、内訳は説明欄に記載のとおりであります。過疎債を予定しております。89ページ、22款1項3目1節上水道債4080万円あります。去場地区水道配水管整備事業の財源となる起債で過疎債を予定しております。90ページ22款1項4目農林水産業債、1億100万円あります。1節農業債4730万円の内訳は説明欄に記載のとおりでいずれも過疎債を予定しております。2節林業債5370万円は林道オユンベ線改良工事が過疎債、小規模治山事業は防災対策事業債、水源涵養・環境林取得事業は地域活性化事業債をそれぞれ予定しております。91ページ、22款1項5目1節商工債650万円あります。地域商品券発行事業に充当する予定となっております。過疎債を予定しております。92ページ、22款1項6目土木債7880万円、1節道路橋梁債6880万円の内訳は仁世宇1号橋整備事業など説明欄に記載の4事業となっております。過疎債を予定しております。2節河川債1000万円は長知内ヤマダの沢改修事業となっております。防災対策事業債を充当する予定であります。93ページ、22款1項7目1節消防債6250万円あります。消防施設整備事業に充当する予定で過疎債を予定しております。94ページ、22款1項8目1節教育債1億9980万円の内訳は説明欄に記載のとおりですが、すべて過疎債を予定しております。95ページ、22款1項9目1節臨時財政対策債、

これは今年度に元利償還分が100%そのまま普通交付税に算入されることから交付税的な性格を持つもので、平成31年度の地方財政計画では18.3%の減となっており、30年度決算見込額を考慮し30年度に比べて4000万円減の1億円を計上しております。以上で歳入の説明を終わります。次に7ページの第2表債務負担行為をご覧願います。7ページ、第2表債務負担行為です。地方自治法の規定により債務を負担することのできる事項、期間、限度額を定めるものであります。まず中小企業特別融資利子補給金ですが、期間を平成40年度まで、限度額は306万円としております。町内中小企業への新規貸付を2000万円利率3.1%としています。中小企業経営改善融資利子補給金は、主に設備等の整備のための資金で融資額600万円利率3.3%として積算し、39年度までの9年間で限度額を87万9千円としております。続いて第3表地方債について説明いたしますので次の8ページをお開き願います。8ページ、第3表地方債について説明いたします。起債の目的、限度額、方法、利率、償還の方法を定めるものであります。平成31年度は1番下の臨時財政対策債を除くここに記載の34の事業に充当を予定しております。このうち上から6番目の二風谷地区再整備事業、15番目の小規模治山事業、16番目の林道オユンベ線改良事業、20番目の橋梁長寿命化事業、21番目の仁世宇1号橋整備事業、28番目の振内小学校大規模改修事業は補助事業となっており、国や道の補助金を充当後の事業費に起債を充当しております。臨時財政対策債を除く起債総額5億7030万円は、その元利償還金が交付税算入される過疎債、防災対策事業債、地域活性化事業債を予定しております。1番下の臨時財政対策債は普通交付税で算出される額を起債というかたちで交付する内容のものとなっており、31年度の交付見込額は1億円を予定しております。説明の結びにあたって申し上げます。町を取り巻く財政状況は依然として厳しいものがあり今後も予断を許しません。第6次平取町総合計画を基本に、中長期的な視野に立ったまちづくりがかなうよう国や道の取り組みともしっかりと連携し、町政執行方針及び教育行政執行方針のもと町民生活の向上を目標にしながら将来に向かって持続可能な財政運営を図って参りたいと考えておりますので議員の皆様のご理解を賜りますようよろしくお願い申し上げます。以上、議案第19号平成31年度平取町一般会計予算の説明を終了させていただきますのでご審議のほど

議長

休憩します。再開は1時55分といたします。

(休憩 午前 1時45分)

(再開 午前 1時55分)

議長

再開します。続きまして国民健康保険特別会計予算及び後期高齢者医療特別会計予算について提案説明を求めます。町民課長。

議案第20号平成31年度平取町国民健康保険特別会計予算についてご説明いたします。国保1ページ、平成31年度平取町国民健康保険特別会計予算、第1条は歳入歳出予算の総額をそれぞれ7億6180万円に定めようとするものでございます。第2条は一時借入金の最高額を5000万円にしようとするものでございます。それでは事項別明細書の歳出からご説明いたしますので国保23ページをお開き願います。1款1項1目一般管理費は国民健康保険特別会計運営にかかる事務的経費として887万8千円を計上しております。前年度比で37万4千円の増となっております。国保24ページ、2目連合会負担金は103万4千円の計上でございます。前年度比で19万3千円の増となっております。国保25ページ、2項1目賦課徴収費は64万4千円の計上で前年同額となっております。国保26ページ、2目納税奨励費は72万8千円の計上で前年度比19万3千円の減額となっております。日高管内地方税滞納整理機構負担金で国保の割合に応じた分でございます。国保27ページ、3項1目運営協議会費は34万6千円の計上で国保運営協議会に関する必要経費でございます。国保28ページ、2款1項一目一般被保険者療養給付費が4億2500万7千円の計上でございます。この科目は一般被保険者の医療費を保険者が直接医療機関等へ支払うもので、単価・人数の見直しにより前年度比4100万7千円の増を見込んでおります。国保29ページ、2目退職被保険者等療養給付費は145万7千円の計上で、こちらも人数等の見直しにより前年度比94万3千円の減を見込んでおります。国保30ページ、3目一般被保険者療養費は364万8千円の計上で、一般被保険者の針灸等の医療費の支払いや補装具等、本人が医療費を全額負担した場合の保険者負担分を本人に支払う費用で、前年度比35万2千円の減を見込んでおります。国保31ページ、4目退職被保険者等療養費は1万3千円の計上で、単価・人数の見直しにより前年度比1万2千円の減を見込んでおります。国保32ページ、5目審査手数料は116万6千円の計上で国保連合会にかかる医療費審査支払手数料でございます。国保33ページ、2項1目一般被保険者高額療養費は6799万円の計上でございます。一般被保険者が支払う医療費の自己負担額のうち月内で定められた限度額を超えた場合に、超えた部分を高額医療費として支払う費用で実績を勘案し前年度比1199万円の増を見込んでおります。国保34ページ、2目退職被保険者等高額療養費は23万3千円の計上で高額療養費の平均額と人数の見直しにより前年度比11万7千円の減を見込んでおります。国保35ページ、3目一般被保険者高額介護合算療養費は千円の計上でございます。これは一般被保険者が支払った医療費の自己負担額のうち1年間の医療費と介護サービス費を合算し定められた限度額を超えた場合に支払う費用でここ数年の実績がないことから千円の計上といたしております。国保36ページ、4目退職被保険者等高額介護合算療養費でございますが一般被保険者と同様ここ数年の実績がないことから1千円の計上といたしております。国保37ページ、3項1目一般被保険者移送費は医療機関の受診時に特別な事情が発生し移送される場合に

支給されるもので、こちらもここ数年の実績がないことから1千円の計上といたしております。国保38ページ、2目退職被保険者等移送費につきましても一般被保険者移送費同様1千円の計上でございます。国保39ページ、4項1目出産育児一時金は10件分の420万3千円を計上いたしております。ここ数年の実績を勘案し前年同額としております。国保40ページ、5項1目葬祭費は15件分45万円の計上で前年同額といたしております。国保41ページ、3款国民健康保険事業費納付金ですが北海道が市町村ごとの医療費水準や所得水準に応じた国民健康保険事業費納付金の額を決定するもので1項1目一般被保険者医療給付費分1億6396万2千円の計上で前年度比68万5千円の減といたしております。国保42ページ、2目退職被保険者等医療給付費分21万3千円の計上でございます。前年度比180万1千円の減といたしております。国保43ページ、2項1目一般被保険者後期高齢者支援金等分4980万円の計上でございます。前年度比33万5千円の増といたしております。国保44ページ、2目退職被保険者等後期高齢者支援金等分7万円の計上でございます。前年度比61万1千円の減といたしております。国保45ページ、3項1目介護納付金分2212万円の計上でございます。前年度比208万5千円の減といたしております。国保46ページ4款1項1目共同事業拠出金、国保47ページ5款1項1目財政安定化基金拠出金はともに前年同額の1千円の計上です。国保48ページ、6款1項1目特定健康診査等事業費でございます。この科目は国民健康保険被保険者の特定健診等に要する費用で381万円の計上でございます。前年度比で9万円の減となっております。国保49ページ、2項1目保健衛生普及費は保険事業の経常的経費で実績に基づき前年同額の1万円を計上いたしております。国保50ページ、7款1項1目基金積立金は国民健康保険給付費支払準備基金利子で前年度比8千円増の9千円の計上でございます。国保51ページ、8款1項1目利子は一時借入金のための利子ですがここ数年借入実績がないことから1千円を計上いたしております。国保52ページ、9款1項1目保険税還付金は50万円の計上で前年度比49万8000円の増の計上でございます。前年度実績に基づき計上いたしております。国保53ページ2目償還金、国保54ページ3目還付加算金はそれぞれ前年同額の1千円を計上いたしております。国保55ページ、2項1目直診施設勘定繰出金は国民健康保険病院特別会計への繰出金で450万円を計上いたしております。前年度比1871万1千円の減額につきましては国民健康保険病院における施設及び機器の整備が終了したことによるものでございます。国保56ページ、10款1項1目予備費は前年同額の100万円の計上でございます。以上、歳出合計額7億6180万円でございます。次に歳入についてご説明いたしますので国保7ページをお開きください。1款1項1目一般被保険者国民健康保険税でございます。北海道が算定した国民健康保険事業費納付金や保険事業費等のために賦課徴収する一般被保険者分の保険税でございます。医療給付費、後期高齢者支援金の現年分世帯数792世帯、介護納付金の現年分被保険者数

497人、収納率それぞれ97%を見込み、医療給付費、後期高齢者支援金、介護納付金の現年・滞繰分合わせて1億9878万円前年度比196万5千円の増を計上いたしております。国保8ページ、2目退職被保険者等国民健康保険税は一般同様、医療費給付費、後期高齢者支援金の現年分世帯数3世帯、介護納付金の現年分被保険者数5人、収納率それぞれ97%を見込み、医療給付費、後期高齢者支援金、介護納付金の現年分・滞繰分合わせて92万2千円、前年度比140万3千円の減を計上いたしております。国保9ページ2款1項1目督促手数料、国保10ページ3款1項1目災害臨時特例補助金はともに前年同額の1千円を計上いたしております。国保11ページ、4款1項1目保険給付費等交付金は国民健康保険の都道府県化により保険給付に必要な費用が道から支払われるもので5億2297万2千円の計上となっております。国保12ページ、2項1目財政安定化基金交付金は前年同額の1千円の計上でございます。国保13ページ、5款1項1目利子及び配当金は国民健康保険の基金利子分で9千円の計上でございます。国保14ページ、6款1項1目一般会計繰入金でございます。これは国民健康保険制度の運営に対して一般会計が国保特別会計へ繰り出すための経費で法定ルールに従い措置するもので366万円減の3910万7千円の計上でございます。国保15ページ、2項1目平取町国民健康保険給付費支払準備基金繰入金は前年同額の1千円を計上いたしております。国保16ページ、7款1項1目繰越金は平成30年度決算見込みにより1千円の計上でございます。国保17ページ8款1項1目一般被保険者延滞金、国保18ページ2目退職被保険者等延滞金は前年同額の各1000円の計上でございます。国保19ページ2項1目一般被保険者第三者納付金、国保20ページ2目退職被保険者等第三者納付金につきましてはそれぞれ前年同額の1千円を計上いたしております。国保21ページ、3目雑入は1千円を計上いたしております。歳入合計額7億6180万円の計上で前年度比2883万1千円の増となっております。続きまして議案第21号、平成31年度平取町後期高齢者医療特別会計予算についてご説明いたします。予算書後期1ページをお開きください。歳入歳出予算の総額をそれぞれ8750万円に定めようとするものでございます。それでは事項別明細書の歳出からご説明いたしますので後期17ページをお開き願います。1款1項1目一般管理費は旅費をはじめとする後期高齢者医療特別会計事務の運営に要する一般的経費で638万3千円の計上でございます。自町システムの更新費用等で前年度比293万9千円の増となっております。後期18ページ、2項1目徴収費は保険料徴収に要する経費で前年同額の16万円の計上でございます。後期19ページ、2款1項1目後期高齢者医療広域連合納付金は北海道後期高齢者医療広域連合に支払う事務費負担金、保険料、保険基盤安定負担金で8055万4千円の計上でございます。被保険者数が増加傾向にあるため616万3千円の増となっております。後期20ページ3款1項1目保険料還付金、後期21ページ2目還付加算金、後期22ページ3目償還金はそれぞれ前年同額の1千円の計上でございます。後期

23ページ、4款1項1目予備費は前年同額の40万円の計上でございます。歳出合計額8750万円の計上で前年度比910万2千円の増となっております。次に歳入についてご説明いたしますので後期6ページをお開き願います。1款1項1目特別徴収保険料は現年度分保険料として213万円増の3238万2千円の計上でございます。この保険料につきましては北海道後期高齢者医療広域連合において試算しております。後期7ページ、2目普通徴収保険料は現年度分及び滞納繰越分として495万7千円増の2386万6千円を計上いたしております。この保険料につきましても北海道後期高齢者医療広域連合において試算しております。後期8ページ、2款1項1目督促手数料は前年同額の1千円を計上いたしております。後期9ページ、3款1項1目事務費繰入金は広域連合事務負担金と後期高齢者医療特別会計運営に必要な経費を一般会計から繰入れするもので277万円増の987万3千円を計上いたしております。後期10ページ、2目保険基盤安定繰入金は低所得者に対する保険料軽減相当分を公費で負担するもので1千円増の2137万3千円を計上いたしております。後期11ページ4款1項1目繰越金、後期12ページ5款1項1目延滞金、後期13ページ2項1目保険料還付金、後期14ページ2目還付加算金、後期15ページ、3項1目雑入につきましてもそれぞれ前年同額の1千円の計上でございます。歳入合計8750万円の計上で前年度比910万2千円の増となっております。以上、後期高齢者医療特別会計の予算説明とさせていただきますのでご審議のほどよろしくお願いたします。

議長 続きまして介護保険特別会計予算の提案説明を求めます。保健福祉課長。

保健福祉課長 続きまして議案第22号、平成31年度平取町介護保険特別会計予算についてご説明します。介護保険の1ページをお開きください。第1条歳入歳出の予算総額はそれぞれ4億9430万円と定めます。なお歳入歳出予算の款項区分等につきましては「第1表歳入歳出予算」によります。第2条地方自治法に規定する一時借入金の最高額は5000万円とします。予算の流用については第3条のとおり規定しております。歳出をご説明しますので32ページをお開きください。1款1項1目一般管理費ということで通常必要な運営経費になります。397万5千円の計上で前年と比較して77万6千円の減ということになっておりますけれども、制度改正に伴う周知用のパンフレットとか委託料における機器の改修分の減、このほかに負担金補助及び交付金19節北海道国保連合会の審査支援システムの更新に伴う負担金というのが新たに33万円ということで新規に計上されております。次に33ページになりますけれども賦課徴収費です。納入通知書の印刷等にかかる経費、前年同額3万2千円の計上です。次に34ページですが介護認定審査会費、介護の認定審査会にかかわる主治医意見書この負担分の経費で409万5千円の計上です。19節において日高西部介護認



定審査会の規約に基づく負担金、均等割・高齢者人口割、この分の負担金割合が変更になって平取町の負担が16万1千円の減ということになっております。続きまして35ページの認定調査費ですけれども認定調査に必要な旅費とか消耗品、遠方にいる町外者、住所地特例の認定調査委託料これについては37万2千円の計上ということになっております。町外者の認定調査については実績により4万1千円の減ということにしております。続きまして36ページ介護計画策定費、これは高齢者福祉介護保険運営委員会の経費として13万7千円の計上です。次に37ページ居宅介護サービス給付費、在宅での介護サービスやデイサービス、ショートステイ、福祉用具貸与などに要する経費で9990万円の計上です。昨年度と比較して2178万円の増加ですがこれはデイサービス事業での利用が大幅に増えていることが大きな要因となっております。次に38ページ地域密着型サービス給付費ですけれども認知症グループホーム、心のホームふれなないにおける共同生活介護、小規模デイサービス、訪問通所サービスに要する給付費です。利用者の減で前年比1272万円の減ということで5232万円の計上です。続きまして39ページ施設介護サービス給付費、特別養護老人ホームや介護老人保健施設などの施設利用分として2億2494万円の計上となっております。前年度と比較して699万円の減となっておりますがこれは町外の介護老人福祉施設の入所者の減によるものです。次に40ページ福祉用具購入費ですけれども腰かけ便座また入浴補助用具、そういう福祉用具の購入に対するへ補助分として40万8千円の計上です。この制度は年間10万円を限度として自己負担は基本的に1割という事業でございます。既に41ページ住宅改修費、これも要介護者が在宅生活に必要な、例えば手すりとかそういうものを取りつけする時の小規模な住宅改修に要する給付費で120万円の計上です。次に42ページ居宅介護サービス計画給付費、居宅介護事業所として町や社協が行うサービス計画の策定等費用として前年同額の1740万円の計上です。43ページ介護予防サービス給付費、要支援の方が利用するデイサービスなどの在宅サービスに対する給付費として312万円の計上です。利用者がやや増加傾向にありますので60万円の増額としております。44ページ、地域密着型介護予防サービス給付費として84万円の計上です。これは認知症高齢者共同生活介護グループホーム、振内にある施設ですが、要支援2の方を対象に食事や生活介護などの生活支援に対するもので、入所者の減により36万円の減としております。次に45ページ介護予防福祉用具購入費ですが、要支援認定者に対してポータブルトイレなど福祉用具の助成をする給付費として24万円の計上です。実績により減としております。46ページ介護予防住宅改修費、要支援者が住宅に必要な手摺りとかですね、そういう小規模な住宅改修に要する給付費で120万円の計上です。これも実績による減ということにしております。次に47ページ居宅介護予防サービス計画給付費、介護予防事業として地域包括支援センターが居宅サービス計画の策定などに要する費用として前年度同額の180万円の計上です。48ページ審査支払い手数料、こ

これは国保連合会が行う審査の手数料として36万円の計上です。次に49ページ高額介護サービス費、利用者の1カ月分の自己負担額が高額となった場合、上限額の超過分を支給する費用として前年同額の1200万円の計上です。次に50ページですけれども高額介護予防サービス費、要支援の世帯の中で施設入所の高額介護また介護予防される方がいる場合、補助する経費として前年同額の1万2千円を計上しております。51ページ高額医療合算介護サービス費、同一世帯で医療と介護の両方のサービスを利用した場合年単位で自己負担の軽減を図るもので132万円の計上です。次に52ページ高額医療合算介護予防サービス費、要支援者の世帯に対する高額医療合算介護予防サービス費として前年同額の1万2千円の計上です。53ページ特定入所者介護サービス費として、これは低所得者に対する施設入所費用について食費や居住費などの負担の軽減をする費用で2880万円の計上です。実績により60万円の減としております。54ページ特定入所者介護予防サービス費、要支援の低所得者を対象としてサービスで前年同額の7万2千円の計上です。次に55ページ介護予防・生活支援サービス事業費、要支援者の訪問通所サービス、配食サービス、短期集中予防型事業に要する委託料で2072万2千円の計上です。今年から新たに訪問型で19節の負担金補助及び交付金の欄で、訪問型サービスでこれは移動支援ということで新たな経費250万円を計上しております。その他、託料ではリハビリ訓練通所型サービスCというリハビリサービスでこれについても実績に基づいて減ということにしてしております。次に56ページ介護予防ケアマネジメント事業費、町内で介護認定を受け町外に転出されてサービスを受けている住所地特例の方のケアマネジメント、これを町外事業者に委託する経費で12万9千円の計上です。次に57ページ一般介護予防事業費、サロンの開設支援、介護予防、ボランティアポイント事業の経費、こういうものを272万2千円の計上です。リハビリ事業所や一部事業所の縮小などもあってまたボランティアポイントの実績に基づいて委託料を減額ということにしてしております。次に58ページ包括的支援事業費、これは地域包括支援センターの運営費ということで介護認定調査費用、総合相談支援事業にかかる経費、等を計上しております。賃金においては前年度計上の額が不足しておりましたので正しい額ということで増額で計上しております。また委託料については法改正に伴うシステム改修費用、前年度ありましたが、その分が今回なくなりましたのでこの分の減、これと逆に18節の備品購入費、地域包括支援システムの端末更新ということで新たに30万3千円の予算を計上しております。59ページ任意事業費ですけれども配食サービス、認知症サポーター養成講座、高齢者グループホーム家賃補助などの行う経費で303万3千円の計上です。高齢者の成年後見制度、これについては新たに予算を計上し手数料として11万円、扶助費として20万円、合わせて32万円を計上しております。60ページ審査支払い手数料、国保連合会が行う審査手数料として1千円の計上です。61ページ介護給付費基金積立金、支払準備基金の利息分基金残高の0.1%という計算になるんで

すが2万5千円を積立金として計上しております。次に62ページ一時借入金  
利子として1万円の計上、63ページ第1号被保険者保険料還付金として還付  
が生じた場合の予算として7万6千円を計上しております。次に64ページ予  
備費として50万円の計上です。以上、歳出合計4億9430万円の計上で前  
年度対比で160万円の増です。次に歳入を説明しますので介護保険7ページ  
をお開きください。1款1項1目第1号被保険者、65歳以上の方になります。  
保険料9138万8千円の計上です。高齢化による対象者の増により257万  
9千円の増としております。滞納繰越分は収納率20%を見込んでおります。  
次の8ページ、督促手数料として2千円を計上しております。9ページ、3款  
国庫支出金介護給付費国庫負担金7664万3千円の計上です。施設入所者の  
増等により63万4千円の増を見込んでおります。10ページ、国庫補助金調  
整交付金3121万6千円の計上です。この調整交付金は全国水準と地方との  
格差調整のための交付金で後期高齢者の割合や所得分布により階層区分、それ  
と要支援者の出現率や保険料の基準額が全国平均の水準となるよう調整を図る  
ため国から交付されるものです。平成30年度より142万1千円の増と見込  
んでおります。次の11ページ地域支援事業交付金ですが、要支援1の方を対  
象とした介護予防生活支援サービス事業、一般介護予防事業などの訪問通所介  
護に要する経費の25%分とし589万3千円を計上しております。次に12  
ページ、国庫支出金包括支援事業交付金599万円の計上です。包括的支援事  
業は地域包括支援センターの運営経費であり、任意事業は食の自立支援事業や  
包括支援センターのその運営経費と認知症関係の講座そういう経費を計上して  
おります。51万9千円の増となっております。13ページ国庫補助金保険者  
機能強化推進交付金ですが、平成30年度新たに制度化された交付金で、今回  
昨日の議会で補正で上げさせていただいたものです。80万円を計上しており  
ます。この交付金は、市町村における介護予防や介護充当化防止の取組状況に  
応じて国の指標で採点し、高得点の自治体がより多くの財政的支援を受けられ  
るものということで新たな制度となっております。それでは次に14ページ、  
支払基金介護給付費交付金です。支払基金の事業費負担分27%1億2040  
万5千円の計上です。15ページですが、地域支援事業交付金として介護予防  
その他諸費の支払い基金負担分27%636万5千円の計上です。続いて16  
ページです。道支出金介護給付費道負担金として道の一定割合負担分6829  
万円を計上しております。17ページ、道支出金地域支援事業交付金（介護予  
防事業）という道の負担金割合は12.5%として294万7千円を計上して  
おります。前年度0円となっておりますけども平成30年度は道の負担金とい  
うことで295万円を計上しておりました。性質・内容的に道の補助金という  
ものが適正であろうということで今回科目を変更し道補助金ということで予算  
を計上しております。次の18ページ包括支援事業交付金、包括支援センター  
運営経費、食の自立支援事業などに要する経費、299万5千の計上です。こ  
れも昨年は道負担金として273万6千円を計上しておりました。この分を道

補助金として科目を変更して計上しております。19ページの財産収入ですけれども介護保険の支払準備基金の利子として2万5千円の計上です。次に20ページ介護給付費繰入金、介護給付費に対する一般会計の繰入金で12.5%の割合により5574万3千円の計上です。21ページ地域支援事業繰入金（介護予防事業）、これも一般会計繰入金として12.5%294万6千円の計上です。22ページ包括支援事業繰入金、包括的または任意事業に対する町からの繰入金で19.25%の割合により299万5千円の計上です。23ページ、低所得者保険料軽減分ということで繰入金112万8千円の計上です。介護保険料の算定では低所得にかかる分については決められた金額より更に0.5%減ということがありその分に対する町からの繰入金ということで112万8千円の計上ということになっております。それでは24ページその他一般会計繰入金、事務経費等の総務費繰入金ということで861万1千円の計上です。なお法の改正に伴うシステム改修等の減により前年度より58万3千円の減ということになっております。25ページ介護保険給付準備基金繰入金ですが保険給付費や介護保険料の軽減のため基金を取り崩して補てんする費用として930万円の計上です。介護保険の介護給付につきましては国・道・町がそれぞれの割合で負担し、さらに2号被保険者40歳から64歳の方ですが支払基金からそういう負担をいただいて、それを除いた分を第1号被保険者ということで保険料払っておりますけれども、その分の保険料の軽減あるいは給付に不足を生じる場合、この基金を取り崩して補てんするというものになります。26ページ、繰越金として例年どおり50万円の計上です。次に27・28・29ページになりますけれども第1号被保険者の保険料延滞金、過料、預金利子、それぞれ1千円ずつの計上です。最後に30ページをお開きください。30ページですけれども、雇用保険被保険者負担金として11万5千円を計上しております。以上、歳入歳出4億9430万円を計上し前年度比160万円の増となっております。以上、平成31年度平取町介護保険特別会計予算の説明を終わります。

議長 次に簡易水道特別会計予算について提案説明を求めます。建設水道課長。

建設水道課長 議案第23号、平成31年度平取町簡易水道特別会計予算につきましてご説明申し上げますので水道の1ページをご覧ください。第1条、歳入歳出予算であります。第2項においては、歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は第「1表歳入歳出予算」によることとしております。第2条において地方自治法の規定により起こすことができる地方債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は第2表地方債によるものとしております。第3条において一時借入金の限度額を5000万円とするものであります。それでは歳入歳出の事項別明細の歳出からご説明申し上げますので15ページをご覧ください。前年対比において大きく増減になる部分についてのみご説明申し上げます。3歳

出1款1項1目一般管理費で2881万1千円を計上しており前年対比197万円の増となっております。27節公課費において消費税納入額として180万円を計上し、前年対比129万8千円の増となっております。16ページ、2款1項1目維持管理費で4221万円を計上しており前年対比205万円の増となっております。11節需用費169万2000円の増につきましては、修繕料において岩知志浄水場の非常用自家発電機の修理が必要になったことから前年対比140万3千円の増になることと、13節委託料において前年対比32万3千円増によるものでございます。17ページ2款1項2目建設改良費で9182万7千円を計上しており、前年度対比で190万円の減となっております。13節委託料につきましては貫気別地区配水管整備の実施設計委託料として810万円を計上し前年度対比204万円の減となっております。15節工事請負費につきましては量水器取替貫気別地区の配水管整備に計装設備の更新、平取南地区函渠工にかかる水道管移設の4工事の事業費7890万円を計上し前年度対比54万円の増となっております。18節備品購入費につきましては、本年度のメーター器の更新300台分を予定し480万円を計上しております。18ページ3款1項1目元金で9604万9千円を計上しておりますが、これは水道施設整備事業の起債償還金でございます。19ページ、3款1項2目利子で2140万3千円を計上しておりますが、これは水道施設整備事業にかかる起債の償還利子でございます。20ページ、4款1項1目予備費であります前年同額の50万円を計上しております。21ページ、歳出の合計は2億8080万円となり前年対比544万5千円の増となっております。続いて、歳入の説明を行いますので7ページをお開き願います。2歳入1款1項1目使用料で1億3100万円を計上しており前年対比150万円の減となっております。これは実績をもとに算定したものでございます。内訳は現年度分1億2800万円と滞納繰越分300万円を見込んでおります。8ページ1款2項1目手数料につきましては前年度同額の20万円を見込んでおります。9ページ、2款1項1目簡易水道施設費国庫補助金につきましては、貫気別地区の配水管整備事業と計装設備更新事業あわせたもので2576万5千円を見込んでおります。10ページ、3款1項1目繰越金は前年度と同額の50万円を計上しております。11ページ、4款1項1目一般会計へ繰入金で6921万7千円を計上し前年度対比694万4千円の増となっております。これは水道会計の財源不足を一般会計に求めたものでございます。12ページ、5款1項1目雑入で1万8千円を計上しております。13ページ6款1項1目簡易水道事業債につきましては5410万円を計上し前年度対比1360万円の減となっております。これは水道施設整備事業に伴う国庫補助金以外の財源を起債に求めたものでございます。14ページ歳入の合計は2億8080万円の前年度対比544万5千円の増になります。次に第2表の地方債についてご説明申し上げますので4ページをお開き願います。この表は、起債の目的、限度額、起債の方法、利率、償還方法を定めたもので平成31年度は記載してある2事

業に充当する限度額を5410万円とするものであります。以上、簡易水道特別会計の予算についてご説明申し上げましたのでご審議のほどよろしくお願ひします。

議長

最後に国民健康保険病院特別会計予算について提案説明を求めます。病院事務長。

病院事務長

国民健康保険病院予算書1ページ、議案第24号、平成31年度平取町国民健康保険病院特別会計予算についてご説明申し上げます。第1条、平成31年度平取町国民健康保険病院特別会計の予算を次のように定めようとするものでございます。第2条は業務の予定量でございます。1. 業務量、(1) 本院の病床数は一般病床で旧病院では4月から6月になりますが48床で、新病院となる7月からは42床となります。年間の患者数は入院が1万3870人、外来は2万4510人の患者数を予定しております。一日平均患者数は入院が38人を見込み、外来は105人を見込んでおります。次に(2) 振内診療所でございますが、年間外来患者数は2574人で一日平均26人を予定しております。訪問診療は年間患者数を1200人、一日平均12人を予定しております。2. 主要な建設改良事業となります。事業は平取町国民健康保険病院改築事業、事業費2億800万6千円を予定しております。次に第3条の収益的収入及び支出の予定額を次のとおりとするものでございます。収入の第1款病院事業収益が8億5819万1千円で、支出の第1款病院事業費用が10億3661万6千円となります。収支に差額が出ておりますが、特別損失が計上されることによりまして費用が多くなっております。予算内容につきましては予算説明書で説明いたします。次のページをご覧ください。第4条の資本的収入及び支出の予定額を次のとおりとするものでございます。収入が支出に対して不足する416万2千円は留保資金で補てんする予算措置となっております。資本的収入の予定額を2億1702万2千円とし、資本的支出の予定額を2億2118万4千円としております。予算内容につきましては予算説明書でご説明いたします。次に第5条の起債の借入限度額等を定めるものでございます。平取町国民健康保険病院改築事業として発行を予定しております。限度額は平取町国民健康保険病院改築事業が1億7200万円を予定し借入条件等は記載のとおりでございます。次に第6条の一時借入金限度額を5億円と定めるものでございます。第7条は議会の議決を得なければ流用することができない経費となりますが、対象となる経費は職員給与費が4億7643万5千円とし、交際費が30万円としております。次に第8条はたな卸資産の購入限度額を7000万円と定めるものでございます。以上が平成31年度平取町国民健康保険病院特別会計予算書となります。続きまして予算内容の説明をさせていただきます。次のページをご覧ください。平成31年度平取町国民健康保険病院事業特別会計予算実施計画書(総括)でございます。まず収益的収入及び支出の収入のうち

第1款病院事業収益が本年度予算8億5819万1千円となり、前年度比較1億2777万8千円の増となっております。1項医業収益は3億8649万4千円で前年度比較2830万3千円の減となっております。目に関する予算額は予算説明書でご説明いたしますので省略させていただきます。次に第2項医業外収益は4億704万円で前年度比較9142万5千円の増となっております。第3項特別利益は6465万7千円を見込んでおります。次に支出の1款病院事業費用の本年度予算額は10億3661万6千円としております。1項医業費用は7億8412万2千円で前年度比較6081万6千円の増となっております。2項医業外費用は941万2千円で前年度比較350万5千円の増となっております。3項特別損失は2億4208万2千円で前年度比較2億4188万2千円の増となっております。4項予備費は前年同額の100万円としております。次のページをご覧ください。資本的収入及び支出となります。1款資本的収入は2億1702万2千円となり前年度比較10億9277万6千円の減となります。1項一般会計負担金は4478万2千円で前年度比較3726万5千円の減となっております。2項企業債は改築事業関係の財源として平成31年度借入予定額の1億7200万円を予定しております。3項国民健康保険特別会計負担金は計上がありません。第4項補助金も計上がありません。第5項奨学資金等貸付金償還金は24万円を見込んでおります。次に支出ですが資本的支出は本年度予算額2億2118万4千円となり前年比較8億4549万5千円の減となります。1項企業債償還金は本年度予算額29万9千円で前年比較2千円の増となっております。2項長期借入金償還金は一般会計借入金の償還分440万円となります。3項建設改良費は病院改築事業関係と医療機器購入などで2億1385万7千円を予定し前年比較8億4489万7千円の減となっております。4項貸付金は看護科学学校への奨学資金として262万8千円を予定しております。収支につきましては先ほども説明いたしましたが416万2千円の不足としておりますが留保資金で補てんする予算措置となっております。次のページをご覧ください。平成31年度平取町国民健康保険病院事業特別会計予算説明書を説明いたします。まず収益的収入の1款1項1目入院収益ですが1日平均患者数を38人、年間患者数を1万3870人とし、1日当の診療単価を1万5100円を見込んでおります。それによりまして入院収益が2億943万7千円を予定し前年度比較1102万3千円の減と見込んでおります。次に1款1項2目外来収益ですが本院は1日平均105人、延患者数2万4510人、診療単価を4200円として見込んでおります。振内診療所は1日平均患者数26人、延患者数2574人、診療単価が5200円を見込んでおります。訪問診療につきましては1日平均患者数12人、延患者数1200人、診療単価が6600円を見込んで、外来収益を本院、振内診療所合わせて1億2802万7千円を予定し前年度比較1480万5千円の減としております。次に1款1項3目その他医業収益ですが、本年度予算額が4903万円前年度比較247万5千円の減となっております。1節室料差額収

益は40万円、2節公衆衛生活動収益は820万円、3節自動車収益は5千円を計上しております。4節その他医業収益は各種予防接種・健診などと収入調整なども勘案して4042万5千円を計上しております。次のページをご覧ください。1款2項1目受取利息配当金でございます。本年度予算額5千円を予定しております。次に2目の他会計負担金ですが本年度予算額は3億1450万円で前年比較2000万円の増としております。1節の一般会計負担金は繰入金を3億1000万円計上し前年度比較2000万円の増としております。2節国民健康保険特別会計補助金として救急患者受入体制支援事業に該当する夜間・休日の医師確保に対する経費の助成金450万円を国保会計からの繰入金として計上しております。次に3目患者外給食収益は90万円とし前年度同額としております。4目その他医業外収益は本年度予算額9163万5千円で前年度比較7142万5千円の増としております。1節その他医業外収益は623万7千円を計上しております。内訳は職員住宅の使用料や休日夜間診療確保対策費補助金などになります。2節長期前受金戻入は取得した資産の財源となった収入額について減価償却見合分を収益化するものとなります。8539万8千円を計上しております。次に1款3項1目特別利益ですが現病院の取り壊しなどにかかる長期前受金戻入額を特別利益として6465万7千円を計上させていただいております。次のページをご覧ください。収益的支出予算となります。まず1款1項1目給与費でございます。本年度は4億7643万5千円となり前年度比較27万1千円の減となります。1節給料は医師3名、職員30名の1億5050万2千円前年度比較370万2千円の増となります。2節手当は各種手当として1億1078万1千円を計上しております。498万2千円の増となっております。3節報酬は8806万2千円で、そのうち嘱託職員報酬が5706万2千円となりこの中には振内診療所医師1名分の給与が含まれております。嘱託医師等業務報酬として出張医師等の報酬を3100万円計上しております。常勤医師の負担軽減を考慮し出張医などを依頼いたします。前年度比較998万6千円の減となっております。4節法定福利費は本年度予算額7140万8千円で前年比較49万7千円の増となっております。5節退職給与金は本年度予算額3531万円で前年比較86万6千円の増となっております。6節賞与引当金繰入金は本年度予算額2037万2千円となり前年比較33万2千円の減となります。次のページをご覧ください。1款1項2目材料費でございます。本年度予算額5362万円を計上しております。前年度比較357万8千円の減となっております。1節薬品費は1750万円を計上し50万円の減としております。2節診療材料費は3542万円を計上しております。前年比較では307万8千円の減としております。3節医療消耗備品費は50万円を計上し、4節給食消耗備品費も前年同額の20万円としております。次のページをご覧ください。1款1項3目経費でございます。本年度予算額1億6748万5千円を計上し前年比較56万8千円の減となっております。1節賃金は140万円を計上し前年比較260万円の減としております。



2節旅費交通費は330万円を計上し前年同額としております。3節被服費も前年同額の90万円を計上してしております。4節消耗品費は300万円を計上し前年度比較30万円の増としてしております。5節消耗備品費は100万円を計上し前年度比較50万円の減としてしております。6節会議費は5万円を計上してしております。7節光熱水費は878万4千円を計上し288万円の増としてしております。新病院での電気料の増加を見込んでおります。8節燃料費は1005万7千円を計上し74万2千円の増としてしております。9節食糧費は40万円、10節印刷製本費は100万円を計上し、それぞれ前年同額としてしております。11節使用料及び手数料は1275万3千円を計上し前年度比較106万6千円の増となっております。医師等紹介手数料の増額などで106万6千円の増となっております。次のページをご覧ください。12節通信運搬費は103万6千円を計上し前年度同額となっております。13節保険料は173万9千円を計上し前年度比較16万1千円増となっております。14節建物修繕費は120万円を計上してしております。前年度比較150万円の減となっております。15節車両及備品修繕費は100万円を計上してしております。前年度比較100万円の減としてしております。16節賃借料は30万円を計上し前年度同額となっております。次のページをご覧ください。17節委託料ですけれども1億1740万1千円を計上し前年比較を9万2千円の減となっております。18節交際費は30万円で前年同額となっております。19節諸会費は121万5千円を計上し前年度比較2万5千円増となっております。20節雑費は50万円で前年同額となっております。次のページをご覧ください。21節修繕引当金繰入額は昨年と同額の10万円とし、22節貸倒引当金繰入額も前年同額の5万円を計上してしております。次に1款1項4目減価償却費でございます。本年度予算額が8528万2千円を計上し前年比較6543万3千円の増となっております。新病院にかかる減価償却費が始まることにより増額となっております。1節の建物減価償却費から5節リース資産償却費までの当年度の償却予定額を計上してしております。次に1款1項5目資産減耗費でございます。1節たな卸資産減耗費は5万円、2節固定資産除却費が10万円を計上してしております。次に1款1項6目研究研修費でございます。本年度予算額115万円を計上し前年度比較20万円の減としてしております。1節図書費が25万円、2節旅費交通費が80万円で前年度比較20万円の減、3節研究雑費が10万円を計上し前年度同額としてしております。次のページをご覧ください。2項1目支払利息及企業債取扱諸費でございます。本年度予算額が771万2千円を計上してあり前年度比較320万5千円の増となります。起債の借入にかかる利息が増えることによります。次に1款2項2目消費税でございます。170万円を計上し前年度比較30万円の増となっております。次に1款3項1目特別損失でございます。本年度予算額2億4208万2千円を計上し前年比較2億4188万2千円の増となっております。現病院の取り壊しや備品機器の残存価格の償却額を計上してしております。次の予備費は前年同額の100万円を計上してしております。次の

ページをご覧ください。資本的収入の説明になります。1款1項1目一般会計負担金でございます。資本的支出に伴う財源として一般会計からの繰入れを計上するものでございます。資本的支出の特定財源を除いた支出額に対する一般会計の負担分として4478万2千円を計上しています。病院改築にかかる工事費や医療機器等の整備の特定財源を除いた事業費不足分を繰入れするものでございます。1款2項1目企業債でございます。改築事業にかかる財源として1億7200万円の起債の発行を予定しております。改築事業にかかる敷地造成工事と現病院解体工事を予定しております。1款3項1目国民健康保険特別会計負担金と1款4項1目補助金の科目は31年度は計上ございません。次に1款5項1目奨学資金等貸付金償還金でございます。奨学資金貸付金の償還金として24万円を見込んでおります。次のページをご覧ください。資本的支出になります。1款1項1目企業債償還金でございます。本年度予算額が29万9千円を計上し前年比較2千円の増となっております。次に1款2項1目長期借入金償還金でございます。平成22年度において一般会計から4400万円の運転資金を借入れたものを10年で元金均等償還とすることとして9回目の償還分440万円を計上しております。次に1款3項建設改良費1目資産購入費でございます。本年度予算額が585万1千円を計上し前年度比較3億575万1千円の減となっております。新病院での整備分の減となります。1節医療機器購入費と2節一般備品購入費はそれぞれ100万円を計上しております。3節リース資産購入費は医療機器などのリース料の支払いとして385万1千円を計上しております。次に1款3項2目建設工事費でございます。本年度予算額が2億800万6千円を計上し前年度比較4億8738万1千円の減となっております。病院本体工事の完成により減となります。1節委託料は医師住宅の設計と、備品等の移転業務として新病院への引っ越し作業と現病院での廃棄物処理業務を計上しております。2節工事請負費は継続事業として予算措置をしている敷地造成2期工事と現病院の解体工事、新病院内の電話設置工事を合わせて1億8900万円を計上しております。次に1款4項1目看護職員奨学資金等貸付金でございます。奨学資金貸付金は看護師資格を取得するための学校へ入学している3名の学生に対し貸付金の262万8千円を計上しております。前年度と同額になります。2目の看護職資格取得資金貸付金は計上しておりません。次のページをご覧ください。16ページから20ページまでは給与費明細書となりますが、昨年度の当初予算との比較などとなっておりますので詳細の説明は省略させていただきます。21ページをご覧ください。平成31年度平取町国民健康保険病院事業予定キャッシュ・フロー計算書でございます。31年度の資金動きの情報となり1年間の資金の受入支出の予定を記載したものととなります。1. 業務活動によるキャッシュフロー、2. 投資活動によるキャッシュ・フロー、3. 財務活動によるキャッシュ・フローと3つの区分にした資金移動の予定になります。それぞれの項目の資金詳細の説明は省略させていただきます。1番下に資金期首残高と資金期末残高を記載しており

ますが31年度末の資金残高が112万9千円を見込んでおります。次のページをご覧ください。平成31年度国民健康保険病院事業予定貸借対照表でございます。平成32年3月末の予算執行後の残高見込みとなります。まず左側資産の部、固定資産ですが(1)の有形固定資産がイの土地からトの建設仮勘定の項目まで合わせまして23億1179万8千円の残高となっております。次に(2)の無形固定資産はイの電話加入権からハの無形リース資産の項目を合わせまして437万円となっております。(3)の投資その他の資産がイ、前払退職手当組合負担金からロの奨学資金等貸付金合わせまして4507万9千円となっております。固定資産の合計が23億6124万7千円を見込んでおります。2の流動資産ですが現金預金、未収金、貯蔵品として流動資産合計が4732万9千円を予定しております。資産合計が24億857万6千円を見込んでおります。次に右側負債の部の3. 流動負債でございます。(1)の一時借入金から(7)の預り金までの残高が1億910万6千円を予定しております。次に4. 固定負債でございます。(1)の企業債から(4)の引当金までの残高が21億6731万7千円を予定しております。次に5. 繰延収益になりますが(1)の長期前受金から(3)の建設仮勘定長期前受金までの残高が1億3164万9千円を予定しております。次に資本の部でございます。6. 資本金ですが(1)自己資本金として2億141万5千円の残高を予定しております。7. 剰余金は(1)資本剰余金のイ、その他の資本剰余金が1058万9千円となります。(2)の利益剰余金はマイナスになり合計が2億1150万円を予定しております。それによりまして剰余金合計がマイナスとなり2億91万1千円となり資本合計が50万4千円を予定しております。負債・資本合計が24億857万6千円を見込み、左右同額で平成31年度末予定貸借対照表となります。次に23ページをご覧ください。昨日提出した補正予算を見込まない額での平成30年度予定損益計算書となります。平成30年度の決算見込みとなりますが、1. 医業収益から4. 医業外収益の各金額の説明は省略させていただき、経常損失の欄、平成30年度補正を含まない見込額となりますが、3301万6千円を見込み、特別利益・損失を含めた平成30年度純損失が3290万1千円となる決算を見込んでおります。前年度の繰越剰余金が36万6千円ありますのでこの額を加算した3253万5千円が累積欠損金となる予定になっております。補正予算を提出させていただいて議決を得ておりますのでこの額から繰入する額を差し引いた額が実際の決算見込みとなります。次の24ページをご覧ください。平成30年度予定貸借対照表となります。今ご説明した予定損益計算書の数字に基づいた予定貸借対照表となります。補正が含まれていない額となっておりますが、各科目の数値については説明を省略させていただきます。次に25ページをご覧ください。継続費について前々年度末までの支出額、前年度末までの支出額又は支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額並びに事業の進行状況等に関する調書でございます。平成30年度からの継続費に関する調書となります。事業名は平取町国民健康保険病院敷地造

成2期工事で平成30年・31年の2カ年の事業となります。年割額の事業費については記載のとおりとなり前年度末までの支出見込額欄で2800万円、当該年度支出予定額が4540万円となっております。平成31年7月に新病院での診療を開始する予定となっております。病院経営につきましても大変厳しい状況が続いておりますが、住民の医療確保を最優先に病院運営に努めてまいりますので、平成31年度予算案に対するご理解をお願いしたいと思います。以上、病院会計の説明を終わらせていただきます。ご審議のほどよろしく願いいたします。

議長

以上で議案第19号から議案第24号までの平成31年度各会計予算の説明が終了いたしました。

お諮りします。ただいま提案がありました平成31年度平取町各会計予算については議会運営基準111先例1により議員全員で構成する予算審査特別委員会を設置しこれに付託して審査したいと思います。ご異議ありませんか。

(異議なしの声)

異議なしと認めます。従って日程第2議案第19号から日程第7議案第24号までの平成31年度平取町各会計予算については予算審査特別委員会に付託し審査することに決定しました。

お諮りします。ただいま設置されました予算審査特別委員会の正副委員長の選挙については議長の指名推薦により行いたいと思いますがご異議ありませんか。

(異議なしの声)

異議なしと認めます。従って予算審査特別委員会の正副委員長の選挙については議長が指名推薦することに決定しました。それでは指名します。予算審査特別委員会委員長には8番貝澤議員、副委員長には1番松澤議員を指名します。以上のとおり指名推薦しますがご異議ありませんか。

(異議なしの声)

異議なしと認めます。従って予算審査特別委員会委員長には貝澤議員、副委員長には松澤議員と決定しました。以上で本日の日程はすべて終了いたしましたのでこれをもって散会といたします。なお本定例議会はあす6日から10日までは休会といたしまして11日に再開いたしますのでよろしくお願いをいたします。

(閉 会 午後3時25分)